

国立国語研究所学術情報リポジトリ

国立国語研究所研究活動一覧（平成15年度）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2024-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/0002000347

国立国語研究所
研究活動一覽
(平成15年度)

Annual Report of Research Activities
The National Institute for Japanese Language
April 2003 - March 2004

国立国語研究所

国立国語研究所
研究活動一覽
(平成15年度)

*Annual Report of Research Activities
The National Institute for Japanese Language
April 2003 - March 2004*

国立国語研究所

『国立国語研究所研究活動一覧（平成15年度）』について

国立国語研究所では平成7年から9年にかけて『国立国語研究所研究発表資料集』を作成しました。平成10年度からは、その機能を整理・継承する形で『国立国語研究所研究活動一覧』を作成しています。本資料は、その平成15年度版です。

本資料は、(1)研究職員の研究活動を所内外に公表する情報公開のための資料とすること、(2)外部評価のための資料とすることの2点を主たる目的として作成したものです。当該期間における研究職員の成果物である報告書や研究論文等の書誌情報の一覧とともに、個々の研究職員が研究所で行っている研究・事業の課題名、研究所運営に関わるさまざまな業務などを示すことにより、研究職員がどのような研究活動を行っているか、その全体像を広く知っていただくことを企図したものです。なお、研究論文等の具体的内容(本文)については、掲載雑誌等を別途御参照くださるようお願いいたします。

本資料の巻末には、研究会議(研究職員による研究所内部の会議)における研究発表等、所内の各種委員会・部会ならびにその委員・部会員、見学者、平成15年度研究所刊行物などについて、それぞれの一覧を掲載しています。

凡 例

- ・ 平成15年度の研究機構における部門を単位として、常勤、及び常勤に準ずる研究職員の研究活動を示しています。
- ・ 研究活動の区分は、以下のようになっています。研究職員によっては、特定の欄が設けられていないことがあります。これは該当する情報がなかったことを示しています。

- 1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)
- 2 成果公表活動
 - A 国立国語研究所を刊行元とするもの
 - B 所員が執筆・編集した単行本
 - C 学術雑誌、商業雑誌等に掲載された論文
 - D 論文集等に掲載された論文
 - E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)
 - F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)
- 3 上記以外の所内業務
 - ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等
 - イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等
 - ウ. 各種委員会・部会、研究支援等
 - エ. 見学者への対応等
- 4 所外活動
 - ア. 所外委員会
 - イ. 学会活動
 - ウ. 教育活動
- 5 その他

※ この一覧は、『国立国語研究所研究活動一覧』作成作業班が、基本的に個々の研究職員から寄せられた情報をもとに編集しています。情報はできる限り統一して提示するよう努めましたが、個々人の判断などによって、必ずしも網羅的でない面や不統一が残っている場合があります。利用にあたってはその点に御留意ください。

目次

『国立国語研究所研究活動一覧（平成15年度）』について

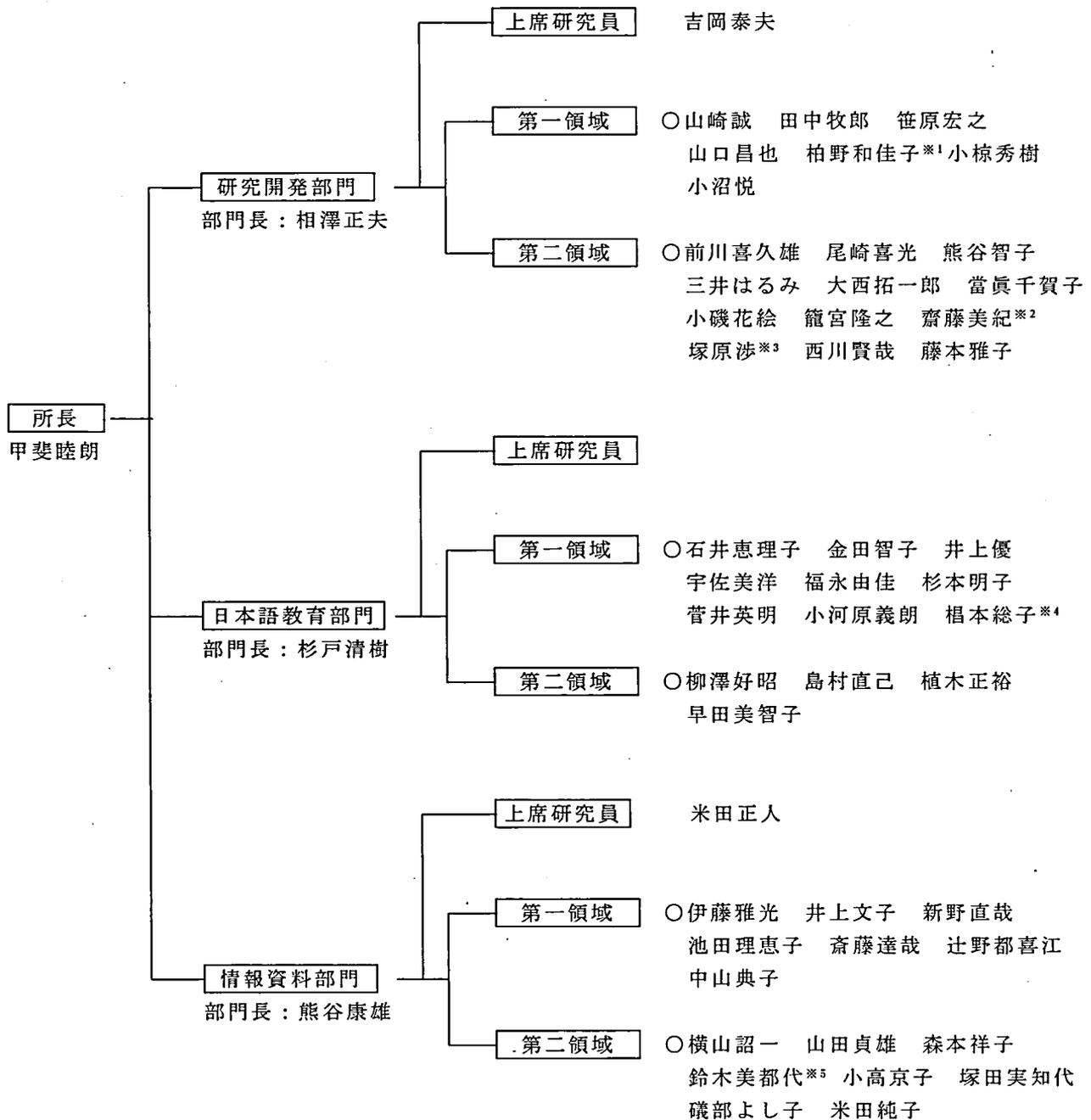
凡 例

研究機構

平成15年度研究活動一覧

所長	3
研究開発部門	6
第一領域	10
第二領域	19
日本語教育部門	34
第一領域	37
第二領域	50
情報資料部門	54
第一領域	56
第二領域	63
平成15年度研究会議・研究発表一覧	71
平成15年度所内委員会委員・部会員一覧	72
平成15年度刊行物検討委員会一覧	76
平成15年度所内見学者一覧	77
平成15年度招へい研究員一覧	78
平成15年度非常勤研究員等一覧	79
平成15年度滞在研究員受入一覧	81
平成15年度外国出張一覧	82
平成15年度国立国語研究所刊行物一覧	87

研究機構 (平成16年3月31日現在)



○印は領域長

※1 平成15年1月14日から4月7日まで特別休暇，平成15年4月8日から11月30日まで育児休業

※2 平成15年10月31日退職

※3 平成16年1月31日退職

※4 平成15年6月16日採用

※5 平成15年10月28日死去

平成15年度
研究活動一覽

所長

甲斐睦朗

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『第1回「外来語」言い換え提案－分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫－』, 2003年4月
- 『第2回「外来語」言い換え提案－分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫－』, 2003年11月
- 『新「ことば」シリーズ17言葉の「正しさ」とは何か』 座談会1件, 2004年3月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「連載 外来語の現状とその解決のために 第1回～第11回」, 『文化庁月報』No. 415-426, 2003年4月-2004年3月, 株式会社ぎょうせい
- 「これからの時代に求められる国語力－文化審議会国語分科会「審議経過の概要」を読み解く」, 『教職研修』No. 369, pp. 11-13, 教育開発研究所, 2003年5月
- 「語彙から見た漢字」, 『月刊しにか』No. 164, pp. 50-57, 大修館書店, 2003年9月
- 「言語生活力の基礎基本の育成」, 『月刊国語教育研究』No. 377, p. 1, 日本国語教育学会, 2003年9月
- 『日本語を科学的に考える－樺島忠夫著「日本語探検」書評』, 『本の旅人』Vol. 10 No. 3, pp. 22-23, 角川書店, 2004年3月
- 「国民教育としての文学教育を」, 『日本文学』Vol. 53 No. 3, pp. 22-30, 日本文学協会, 2004年3月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第11回国際シンポジウム「世界の〈外来語〉の諸相」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『第1回「外来語」言い換え提案－分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫－』, 企画・編集
- 『第2回「外来語」言い換え提案－分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫－』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員長
- 国際交流委員会委員長
- 普及広報委員会委員長
- 大学院運営委員会委員長
- 「外来語」所内委員会委員長
- 移転整備実施委員会委員長
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム所内委員会委員長

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 文化審議会国語分科会臨時委員
- 法制審議会臨時委員
- 中央教育審議会専門委員
- 旺文社学芸科学コンクール最終審査委員
- 国文学研究資料館評議員
- 財団法人 NHK 放送研修センター理事
- 財団法人教育研究振興会評議員
- 財団法人日本語教育振興協会理事・研修委員
- 財団法人博報児童教育振興会博報賞審査委員長
- 社団法人国際日本語普及協会評議員
- 大学評価・学位授与機構大学評価委員会専門委員
- 東京都教育委員会児童・生徒の学力向上を図るための調査問題作成部会および結果分析部会委員
- 特定非営利活動法人言語資源協会理事
- 独立行政法人国際交流基金日本語国際センター事業協力委員
- 独立行政法人国際交流基金北京日本学術研究センター協力委員
- 日本貿易振興会ビジネス日本語テスト協力機関会議委員
- 文部科学省統計数理研究所評議員会長
- 読売新聞社活字文化推進会議推進委員
- 読売新聞社全国小・中学校作文コンクール中央審査委員
- 読売新聞東京本社新聞監査委員会審査委員

イ. 学会活動

- 国語学会評議員
- 表現学会理事

5 その他

- 執筆「外来語を言い換える試み」、『社会保険』Vol.54 No.5, p.2, 財団法人全国社会保険協会連合会, 2003年5月
- 取材対応「交友抄」, 日本経済新聞, 2003年5月
- 執筆『「癒やし」は豊かな日本の自然とのかかわりで』、『月刊健康』No.535, 2003年6月
- 出演「PSB 釜山放送開局特集 美しい遺産方言」, PSB 釜山放送, 2003年6月
- 取材対応「国語力ってなんだろう?」, 朝日中学生ウイークリー, 2003年6月
- 取材対応『ひと街交差点-「外来語」委員会 62語提案-』, 日本経済新聞, 2003年6月
- 執筆「名作 ここが読みたい-紫式部源氏物語」, 読売新聞, 2003年6月
- 執筆「外来語を分かりやすい言葉に」, 『電気協会報』No.944, pp.45-47, 社団法人日本電気協会, 2003年7月
- 出演「なるほどインターネット」, 北ケーブルテレビ, 2003年8月
- 講演「新聞を使った NIE 運動の拡充のために」, 教育のためのセミナー「総合学習と新聞活用」, 中日新聞名古屋本社ホール, 2003年8月
- 講演「言葉を磨き合う国語教室の創造」, 愛知県国語教育研究会総会, 名古屋市教育館, 2003年8月
- 取材対応「日本語の中にあふれるカタカナ語」, 『JAL Family Letter』Vol.19 No.3, pp.26-31, 日本航空株式会社, 2003年9月
- 出演「視点・論点-国語力をつけるには-」, NHK, 2003年9月
- 講演「文章表現から新聞の必然性を考える」, 朝日連続談話会, 朝日新聞東京本社, 2003年9月
- 執筆7編「随想」神戸新聞夕刊, 2003年9月-12月

- 取材対応「氾濫するカタカナ語を分かりやすく、つかいやすく」、『Inter Brain You』, p.6, 株式会社カデナクリエイト, 2003年9-10月号
- 講演「日本語力とNIE」, 第56新聞大会, 熊本日日新聞本社ホール, 2003年10月
- 講演「子どもの読書 今、そしてこれから—子どもたちの読書指導をいっそう促進するために」, 中部地区学校図書館活用フォーラム, 草津文化芸術会館, 2003年10月
- パネルディスカッション「メディアと日本語」, 第56回新聞週間「記念の集い」, プレスセンターホール, 2003年10月
- 執筆「分かりにくい外来語は使わないようにしたい」, 『税大通信』No.446, pp.2-3, 国税庁税務大学校, 2003年10月
- 執筆「外来語をわかりやすい言葉に」, 『月刊ウエンディ』No.174, p.5, ウエンディ企画株式会社, 2003年11月
- 取材対応「氾濫する日本語の誤用—日本の言語文化を守るために—」, 『倫風』Vol.53 No.11, pp.85-87, 社団法人実践倫理宏正会, 2003年11月
- 出演「土曜ジャーナル—外来語・言い換えのジレンマ—」, NHK ラジオ第一, 2003年11月
- 講演「新聞の文章表現について」, 日本経済新聞社, 2003年11月
- 出演「読売ニュースナビ—メリット, それともデメリット—カタカナ語言い換え—」, CS衛星放送G+, 2003年12月
- 講演「現代の言語生活の在り方」, SMBCコンサルティング朝食懇話会, リーガロイヤルホテルダイヤモンドホール, 2003年12月
- 講演「メディアと外来語」, 共同通信社ニュースセンター, 2003年12月
- 講演「読売新聞の文章表現」, 読売新聞東京本社, 2003年12月
- 取材対応「ニッポンのカタカナ語の行方」, 『The Neighbor』Vol.34 No.1, pp.48-51, 株式会社千広企画, 2004年1月
- 取材対応「スキャナー 親心が増やす? 人名漢字」, 読売新聞, 2004年2月
- 講演「国語力を高めるための国語科学習」, 第49回全国国語教育研究大会, 京都市立明德小学校, 2004年2月
- 取材対応「Japan and China: National Character Writ Large」, The New York Times International, 2004年3月
- 講演「外来語を考える」, 日本語教育学会フォーラム, 東京女子大学, 2004年3月
- 執筆「固有名詞に外来語を使わない」, 『時報市町村教委』No.189, p.23, 全国市町村教育委員会連合会, 2004年3月
- 執筆『国立国語研究所国際シンポを前に—「外来語」世界的視野で考察—』, 読売新聞夕刊, 2004年3月

研究開発部門

相澤正夫（部門長）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築
- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索
- 新世紀日本人のコミュニケーション能力の基盤形成に関する基礎的研究
- 日本語の現在
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 大学院教育（日本語文化研究プログラム）
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 社会動向を反映した日本語研究のための課題設定に関する基礎的研究（代表者）
- 科学技術振興調整費開放的融合研究推進制度採択課題 話し言葉の言語的・パラ言語的構造の解明に基づく『話し言葉工学』の構築

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『第1回「外来語」言い換え提案－分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫－』, 2003年4月
- 「日本語コミュニケーションにおける外来語使用の功罪」, 『第10回 国立国語研究所 国際シンポジウム 第2部会 日本語コミュニケーションの言語問題』, pp.79-88, 2003年7月
- 『第2回「外来語」言い換え提案－分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫－』, 2003年11月
- 『分類語彙表－増補改訂版－』, 大日本図書, 2004年1月
- 『新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答1件, 2004年3月
- 『外来語に関する意識調査（全国調査報告書）』, 2004年3月
- 『行政情報を分かりやすく伝える言葉遣いの工夫に関する意識調査（自治体調査報告書）』, 2004年3月
- 『国語研の窓』1件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「第8章 音声現象の多様性」, 上野善道 編『朝倉日本語講座 3 音声・音韻』, pp.148-164, 朝倉書店, 2003年6月
- 「日本語の“いま”をとらえる視点－国立国語研究所の活動から－」, 『現代用語の基礎知識 2004』, p.128, 自由国民社, 2004年1月

C 学術雑誌、商業雑誌等に掲載された論文

- 「新刊・寸感」, 『日本語学』Vol.22 No.10, pp.116-117, 明治書院, 2003年9月
- 「カタカナ語とどう付き合うか－相手と TPO をわきまえて使おう－」, 『社内広報情報源』No.891, p.29, 日本経団連社内広報センター, 2003年11月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』Vol.23 No.3, pp.86-87, 明治書院, 2004年3月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 「日本における「外来語」の状況」、『第 11 回国語研究所 国際シンポジウム：世界の〈外来語〉の諸相』、pp. 36-38、国語研究所、2004 年 3 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成 15 年度 国語研究所公開研究発表会、企画・運営
- 第 11 回国際シンポジウム「世界の〈外来語〉の諸相」、企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』、協力
- 『国語研究所 研究活動一覧(14 年度)』、企画・編集
- 『第 1 回「外来語」言い換え提案－分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫－』、企画・編集
- 『第 2 回「外来語」言い換え提案－分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫－』、企画・編集
- 『分類語彙表－増補改訂版－』、刊行物検討委員会委員長
- 『第 10 回 国語研究所 国際シンポジウム 第 2 部会 日本語コミュニケーションの言語問題』、企画・編集
- 『国語研の窓』、協力

ウ. 各種委員会・部会、研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 研究企画調整部会員
- 研究計画委員会 評価部会長
- 研究計画委員会 評価部会研究活動一覧作成作業班長
- 国際交流委員会委員
- 国際交流委員会 研究交流企画部会員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 企画調整部会長
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 企画部会員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員
- 「外来語」所内委員会委員
- 移転整備実施委員会委員
- 移転整備実施委員会 企画部会員
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム所内委員会委員

エ. 見学者への対応等 1 件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 国語学会（日本語学会）評議員
- 日本言語学会委員
- 日本音声学会評議員・会則検討委員

- 社会言語科学会編集委員
- 査読 国内雑誌 3件

5 その他

- 「外来語とどう付き合うか」, ことば見直し講演会, 杉並区役所ホール, 2003年5月
- 「カタカナ語わかりづらい?」, 『東京新聞』, コメント掲載, 2003年6月



吉岡泰夫 (上席研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(学校敬語・敬意表現調査報告)
- 新世紀日本人のコミュニケーション能力の基盤形成に関する基礎的研究
- 日本語の現在(意識調査)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「コミュニケーション能力としての敬語の使い分け能力」, 『第10回 国立国語研究所 国際シンポジウム 第2部会 日本語コミュニケーションの言語問題』, pp. 89-103, 2003年7月
- 『行政情報を分かりやすく伝える言葉遣いの工夫に関する意識調査(自治体調査報告書)』, 2004年3月
- 『外来語に関する意識調査(全国調査報告書)』, 2004年3月

B 所員が執筆・編集した単行本

- 宇佐美まゆみ, 吉岡泰夫 監修『高齢者コミュニケーター講座テキスト』, ニチイ学館, 2003年7月
- 井上史雄, 吉岡泰夫 監修『九州の方言-調べてみよう暮らしのことば-』, ゆまに書房, 2003年11月
- 井上史雄, 吉岡泰夫 監修『中国・四国の方言-調べてみよう暮らしのことば-』, ゆまに書房, 2003年11月
- 井上史雄, 吉岡泰夫 監修『近畿の方言-調べてみよう暮らしのことば-』, ゆまに書房, 2003年11月
- 井上史雄, 吉岡泰夫 監修『中部の方言-調べてみよう暮らしのことば-』, ゆまに書房, 2004年2月
- 井上史雄, 吉岡泰夫 監修『北海道・東北の方言-調べてみよう暮らしのことば-』, ゆまに書房, 2004年3月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「人間関係を築くコミュニケーション」, 『更生保護』, Vol. 54 No. 4, pp. 14-19, 日本更生保護協会, 2003年4月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『第10回 国立国語研究所 国際シンポジウム 第2部会 日本語コミュニケーションの言語問題』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- レクリエーション委員会委員長

エ. 見学者への対応等 2件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本語学会大会企画運営委員
- 社会言語科学会編集委員
- 査読 国内雑誌 5 件

5 その他

- 読売新聞「ジュニア・プレス」コメント掲載, 2003 年 4 月
- テレビ東京「ニュースアイ」取材・コメント, 2003 年 5 月
- 毎日新聞「特集ワイド2」インタビュー記事掲載, 2003 年 6 月
- 日本経済新聞「子どもの言葉遣い」コメント掲載, 2003 年 6 月
- TBSテレビ「ブロードキャスター」出演, 2003 年 6 月
- 西日本新聞「核心」インタビュー記事掲載, 2003 年 8 月
- 熊本日日新聞「新生面」コメント掲載, 2003 年 8 月
- スポーツニッポン新聞「なんでも特捜班」コメント掲載, 2003 年 8 月
- 進学情報誌 FUTURE 増刊号インタビュー記事掲載, 2003 年 9 月
- テレビ東京「世の中ガブッと」出演, 2003 年 11 月
- 朝日新聞「西日本特集」コメント掲載, 2004 年 3 月

研究開発部門第一領域

山崎誠（領域長）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築
- 日本語の現在（実態調査）
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 大学院教育（日本語教育指導者養成プログラム／日本語文化研究プログラム）
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(1) 論理的な日本語表現を支える複合辞形式に関する総合研究（分担者）
- 日本学術振興会特別研究員奨励費 『分類語彙表』の国際化に関する研究－日韓両言語シソーラスの構築とその応用－（代表者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『分類語彙表－増補改訂版－』, 大日本図書, 2004年1月
- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答1件, 2004年3月
- 『国語研の窓』 1件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「ことばの分類・意味の分類（座談会）」, 『日本語学』3月臨時増刊号, pp.19-49, 2004年3月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「『分類語彙表－増補改訂版－』の分類の特徴について」, 『日本語学』, 第20輯, pp.73-86, 韓国日本語文學會, 2004年3月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 「『分類語彙表－増補改訂版』の分類の特徴について」, 『韓国日本語文學會第18回学術発表大会 Proceedings』, pp.1-6, 韓国日本語文學會, 2003年10月
- 山崎誠, 小沼悦:「現代雑誌における語種構成」, 『言語処理学会第10回年次大会発表論文集』, pp.670-673, 言語処理学会, 2004年3月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「語彙の世界とは」, 第19回ことばフォーラム「ことばを探す－語彙の世界に遊ぶ－」, 2004年2月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第11回国際シンポジウム「世界の＜外来語＞の諸相」, 企画・運営
- 第19回ことばフォーラム「ことばを探す－語彙の世界に遊ぶ－」, 企画・運営

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『分類語彙表－増補改訂版－』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育ブックレット5 論理的文章作成能力の育成に向けて』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育ブックレット6 地域における日本語学習支援』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 刊行企画部会員
- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員
- ネットワーク運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク運用管理部会長
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員
- 「外来語」所内委員会委員
- 移転整備実施委員会委員
- 移転整備実施委員会 全体計画班員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 言語処理学会第10回年次大会プログラム委員



田中牧郎 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築(太陽コーパス)
- 日本語の現在(実態調査)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 「20世紀初期総合雑誌コーパス」の構築による確立期現代語の高精度な記述(代表者)
- 科学研究費補助金 研究成果公開促進費(データベース) 既刊『国語学』累積総合データベース(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『第1回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2003年4月
- 『第2回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 2003年11月
- 『国語研の窓』 1件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「外来語「言い換え」話題学」, 自由国民社 編『現代用語の基礎知識 2004』, pp.130-359(欄外), 自由国民社, 2004年1月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「『外来語』言い換え提案』について」、『日本語学』Vol.22 No.8, pp.50-60, 明治書院, 2003年7月
- 「新刊・寸感」、『日本語学』Vol.22 No.8, pp.94-95, 明治書院, 2003年7月
- 「新刊・寸感」、『日本語学』Vol.23 No.1, pp.86-87, 明治書院, 2004年1月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 田中牧郎, 桐生りか, 茂木俊伸, 山口昌也:「行政外来語の実態と問題点」, 社会言語科学会 編『社会言語科学会第13回大会発表論文集』, pp.109-112, 社会言語科学会, 2004年3月
- 山口昌也, 茂木俊伸, 桐生りか, 田中牧郎:「語種との関係に基づいた新聞記事における語彙の時間的変化分析」, 社会言語科学会 編『社会言語科学会第13回大会発表論文集』, pp.113-116, 社会言語科学会, 2004年3月
- 柏野和佳子, 山口昌也, 桐生りか, 田中牧郎:「新聞記事データベースを利用した外来語の使用頻度の推移調査」, 言語処理学会 編『言語処理学会第10回年次大会発表論文集』, pp.432-435, 言語処理学会, 2004年3月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第11回国際シンポジウム「世界の〈外来語〉の諸相」, 協力

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『第1回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 企画・編集
- 『第2回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 普及啓発図書企画部会員
- 「外来語」所内委員会委員

4 所外活動

ウ. 教育活動

- 日本女子大学文学部非常勤講師

5 その他

- 外来語言い換え提案について, AJALT (国際日本語普及会) 会員研修, 機械振興会館, 2003年7月
- どうする高齢社会とカタカナ語 コメント, さあ言おう (さわやか福祉財団), 2003年8月
- 外来語について, サンデーニュースチェック 出演, 東北放送ラジオ, 2003年9月
- 真夜中のカタカナ語講座, 真夜中の王国 出演, NHK-BS, 2003年9月
- どうしてる?カタカナ語, ジュニアプレス コメント, 読売新聞, 2003年9月
- 外来語の言い換えについて, JAM THE WORLD 出演, J-WAVE ラジオ, 2003年11月
- 外来語言い換えの限界 コメント, 東京新聞, 2003年11月
- 新カタカナ語傑作言い換え辞典 コメント, DIME22 (小学館), 2003年11月
- 日清日露から「頑張る」 実例でたどる言葉の変遷 コメント, 新日本語の現場第4部番外編, 読売新聞, 2004年2月

笹原宏之（主任研究員）

1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築（現代雑誌 200 万字言語調査／太陽コーパス）
- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 科学研究費補助金 若手研究(B)(2) 現代日本の「異体字」の実態に関する研究（代表者）
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 20 世紀初期総合雑誌コーパスの構築による確立期現代語の高精度な記述(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 笹原宏之，横山詔一，エリク＝ロング：『現代日本の異体字－漢字環境学序説－（国立国語研究所プロジェクト選書 2）』，pp. 1-318，三省堂，2003 年 11 月
- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答 1 件，2004 年 3 月
- 『国語研の窓』 2 件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 国立国語研究所，情報処理学会，日本規格協会：『平成 15 年度 汎用電子情報交換環境整備プログラム 事業報告書』，日本規格協会，2004 年 3 月

C 学術雑誌，商業雑誌等に掲載された論文

- 笹原宏之，横山詔一，エリク＝ロング：「文字コードの現状と将来」，『日本語学』臨時増刊号「コーパス言語学」，p99-110，2003 年 4 月
- 横山詔一，笹原宏之：「日本語文字資源の基盤整備－システム開発を支える異体字の認知科学－」，『日語日文学研究〔語学・教育篇〕』46 輯，pp. 17-31，韓国日語日文学会，2003 年 8 月
- 「日本製漢字の地域分布」，『日語日文学研究〔語学・教育篇〕』46 輯，pp. 33-47，韓国日語日文学会，2003 年 8 月
- 「日常生活と漢字－画面と空間上で目にする漢字－」，『しにか』2 月号，pp. 14-21，大修館書店，2004 年 2 月

D 論文集等に掲載された論文

- 「地名と漢字」，前田富祺，野村雅昭 編『朝倉漢字講座 3 現代の漢字』，pp. 179-197，朝倉書店，2003 年 10 月
- 「国字が発生する基盤」，前田富祺ほか 編『国語文字史の研究』，Vol. 7，pp. 21-38，和泉書院，2003 年 11 月

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 横山詔一，笹原宏之：「日本語文字情報の国際間検索－早稲田大学図書館検索を例に－」，『2003 年度国際学術発表大会・夏期学術発表大会発表論文集』，pp.4-7，韓国日語日文学会，2003 年 6 月
- 「日本製漢字の展開－坵・杓を例に－」，『2003 年度国際学術発表大会・夏期学術発表大会発表論文集』，pp.8-12，韓国日語日文学会，2003 年 6 月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「「坵」「杓」にみる日本製漢字の展開と地域分布」，第 18 回ことばフォーラム「外字対応のヒント－図書館や電子政府の取り組み－」，2003 年 11 月
- 「日中交流史における日本製漢字」，第 3 回日中自然言語処理共同研究促進会議 コンピュータと言葉から見たコミュニケーション－日中交流の架け橋－（通信総合研究所 京都府京都市大学のまち交流センター），2003 年 11 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第18回ことばフォーラム「外字対応のヒントー図書館や電子政府の取り組みー」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『分類語彙表ー増補改訂版ー』, 協力

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 普及啓発図書企画部会員
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム所内委員会委員
- 滞在研究員受け入れ(朝日新聞社校閲部員1名 半年間), 2003年10月-2004年3月

エ. 見学者への対応等 2件

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 法務省法制審議会人名用漢字部会(幹事)
- 符号化文字集合(新JCS)調査研究委員会親委員会委員, JIS改正原案作成部会委員(「JIS X 0213:2004」)
- 情報処理学会試行標準/WG5小委員会委員
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム文字対応WG・文字情報WG委員

ウ. 教育活動

- 早稲田大学文学部非常勤講師

5 その他

- 『ペン字』, 「明朝体の揺れと楷書体と揺れ」, 2003年4月
- 『日本語教育指導参考書14 文字・標記の教育』, 改訂協力, 2003年5月
- 『ペン字』, 「明朝体の揺れと楷書体と揺れII」, 2003年7月
- 「漢字に関するサイト」, 『月刊しにか』, pp.72-73, 2003年7月
- 『日本経済新聞』, 「障害・障碍」について, 2003年10月
- 『ペン字』, 「「串」の「くし」の本数」, 2003年11月
- 『朝日新聞』, 「ひと」, 2004年1月
- 『ペン字』, 「わび」を漢字で書くと, 2004年1月
- 『産経新聞』, 「平成の言の葉」, 2004年1月
- 笹原宏之, 吉川明日香: 「漢字の「土」の字体」, 『日本医事新報』4161号, pp.100-101, 2004年1月



山口昌也(研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築(太陽コーパス)
- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(話し言葉コーパス)
- 日本語の現在(実態調査)

- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 「20世紀初期総合雑誌コーパス」の構築による確立期現代語の高精度な記述(分担者)
- 科学技術振興調整費開放的融合研究推進制度採択課題 話し言葉の言語的・パラ言語的構造の解明に基づく『話し言葉工学』の構築

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』 コラム 1 件, 2004 年 3 月
- 『国語研の窓』 1 件

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 『『日本語話し言葉コーパス』における品詞分布の分析』、『平成 15 年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp. 45-46, 国立国語研究所, 2003 年 12 月
- 田中牧郎, 桐生りか, 茂木俊伸, 山口昌也: 「行政外来語の実態と問題点」, 『第 13 回社会言語科学会研究大会予稿集』, 社会言語科学会, pp. 109-112, 2004 年 3 月
- 山口昌也, 茂木俊伸, 桐生りか, 田中牧郎: 「語種との関係に基づいた新聞記事における語彙の時間的変化分析」, 『第 13 回社会言語科学会研究大会予稿集』, 社会言語科学会, pp. 113-116, 2004 年 3 月
- 柏野和佳子, 山口昌也, 桐生りか, 田中牧郎: 「新聞記事データベースを利用した外来語の使用頻度の推移調査」, 『言語処理学会第 10 回年次大会予稿集』, 言語処理学会, pp. 432-435

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『第 1 回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 協力
- 『第 2 回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』, 協力
- 『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 韓国アンケート調査集計結果報告書』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- ネットワーク運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク運用管理部会員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 電子情報通信学会言語理解とコミュニケーション研究会専門委員



柏野和佳子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築(現代雑誌 200 万字言語調査)
- 日本語の現在(実態調査)

- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) アジア圏理工系留学生のための多言語対応辞書を装備した日本語学習支援システム開発 (分担者)
- 科学技術振興調整費開放的融合研究推進制度採択課題 話し言葉の言語的・パラ言語的構造の解明に基づく『話し言葉工学』の構築

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『分類語彙表一増補改訂版一』, 大日本図書, 2004年1月
- 『新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か』 言葉のクリップボード1件, 2004年3月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 柏野和佳子, 山口昌也, 桐生りか, 田中牧郎:「新聞記事データベースを利用した外来語の使用頻度の推移調査」, 『言語処理学会 第10回年次大会 発表論文集』, pp.432-435, 言語処理学会, 2004年3月

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 情報処理学会 学会試行標準/WG3 委員会 [解析・生成用日本語電子化辞書形式] 委員

イ. 学会活動

- 言語処理学会編集委員
- 査読 国内雑誌 2件



小椋秀樹 (研究員)

1 担当研究・事業課題名 (科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築 (太陽コーパス)
- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (話し言葉コーパス)
- 科学研究費補助金 若手研究(B) 漢語研究資料としての明治前期語い集型往來の資料的性格の分析と語い索引の作成 (代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 「20世紀初期総合雑誌コーパス」の構築による確立期現代語の高精度な記述 (分担者)
- 科学技術振興調整費開放的融合研究推進制度採択課題 話し言葉の言語的・パラ言語的構造の解明に基づく『話し言葉工学』の構築

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答2件, 2004年3月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 小椋秀樹, 山口昌也, 西川賢哉, 石塚京子, 木村睦子:『日本語話し言葉コーパス』における形態論情報の設計,『平成15年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp.29-30, 国立国語研究所, 2003年12月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 『日本語話し言葉コーパス』の資料性—形態論情報を用いた分析から—, 第75回国語語彙史研究会, 2003年12月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第15回ことばフォーラム「日本語を外から眺める」, 企画・運営

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会「日本語科学」編集部会員

4 所外活動

ウ. 教育活動

- 聖心女子大学文学部非常勤講師

5 その他

- 文化庁文化部国語課専門職(併任)
- BSN新潟放送「かぎとみ徹の熱烈ラジオSHOW」, 2003年5月, 9月, 10月, 2004年1月, 3月



小沼悦(研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築(現代雑誌200万字言語調査/分類語彙表)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『分類語彙表—増補改訂版—』, 大日本図書, 2004年1月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 山崎誠, 小沼悦:「現代雑誌における語種構成」,『言語処理学会第10回年次大会発表論文集』, pp.670-673, 言語処理学会, 2004年3月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第11回国際シンポジウム「世界の<外来語>の諸相」, 企画・運営
- 第19回ことばフォーラム「ことばを探す—語彙の世界に遊ぶ—」, 企画・運営

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- レクリエーション委員会委員

5 その他

- 分類語彙表増補改訂版について記者への取材協力（日本経済新聞日曜版），2004年3月
- 分類語彙表増補改訂版について記者への取材協力（毎日新聞夕刊），2004年3月

研究開発部門第二領域

前川喜久雄 (領域長)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索
- 科学技術振興調整費開放的融合研究推進制度採択課題 話し言葉の言語的・パラ言語的構造の解明に基づく『話し言葉工学』の構築
- 大学院教育(日本語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤(C)(2) 自発音声データに対する多面的アノテーション情報の XML 化に関する研究(代表者)
- 科学研究費補助金 特定研究(A) 韻律に注目した音声言語情報処理の高度化(分担者)
- 戦略的基礎研究推進事業(CREST) 発声力学に基づくタスクプランニング機構の構築(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- “Outline of the Corpus of Spontaneous Japanese”, 『第10回 国立国語研究所 国際シンポジウム 第1部会 Spontaneous Speech: Data and Analysis』, pp.87-108, 2004年3月
- Hideaki Kikuchi and Kikuo Maekawa: “Segmental and prosodic labeling of the Corpus of Spontaneous Japanese”, *Spontaneous Speech: Data and Analysis, Proceedings of the 1st Session of the 10th NIJL International Symposium*, 1, pp.109-122, National Institute for Japanese Language, 2004.3
- 『国語研の窓』1件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「解説」, 『母音—その性質と構造—』, pp.239-255, 岩波書店, 2003年8月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 菊池英明, 前川喜久雄, 五十嵐陽介, 米山聖子, 藤本雅子: 『日本語話し言葉コーパス』の音声ラベリング』, 『音声研究』Vol.7 No.3, pp.16-26, 日本音声学会, 2003年12月

D 論文集等に掲載された論文

- 「『日本語話し言葉コーパス』の韻律アノテーション」, 広瀬啓吉 編『韻律に着目した音声言語情報処理の高度化 2003年度研究成果報告書』, pp.1-4, 東京大学新領域創成科学研究科, 2004年1月
- 「声質とパラ言語情報—音声生成においてパラ言語情報の占める位置—」, 広瀬啓吉 編『韻律に着目した音声言語情報処理の高度化 2003年度研究成果報告書』, pp.15-18, 東京大学新領域創成科学研究科, 2004年1月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 安田圭志, 隅田英一郎, 山本誠一, 柳田益造, 前川喜久雄, 吉田研作: 「英語コミュニケーション能力の自動測定技術の提案」, 『情報処理学会研究報告 IPSJ SIG Technical Report (2003-NL-155)』, pp.65-70, 情報処理学会, 2003年5月
- 籠宮隆之, 山住賢司, 槇洋一, 前川喜久雄: 「講演音声評定尺度を用いた音声評定の分析」, 『日本音響学会 2003年秋季研究発表会講演論文集』, pp.369-370, 日本音響学会, 2003年9月
- 山住賢司, 籠宮隆之, 槇洋一, 前川喜久雄: 「講演音声の特徴を捉える評価尺度の構築」, 『日本音響学会 2003年秋季研究発表会講演論文集』, pp.371-372, 日本音響学会, 2003年9月
- 籠宮隆之, 山住賢司, 槇洋一, 前川喜久雄: 「講演音声に対する評定尺度の作成」, 『第17回日本音声学会全国大

会予稿集』, pp.135-140, 日本音声学会, 2003年9月

- 『『日本語話し言葉コーパス』の設計と実装』, 『平成15年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp.1-8, 国立国語研究所, 2003年12月
- 小磯花絵, 間淵洋子, 西川賢哉, 斎藤美紀, 前川喜久雄: 『『日本語話し言葉コーパス』の書き起こしの仕様について』, 『平成15年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp.27-28, 国立国語研究所, 2003年12月
- 菊池英明, 五十嵐陽介, 米山聖子, 藤本雅子, 前川喜久雄: 『『日本語話し言葉コーパス』の音声ラベリングについて』, 『平成15年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp.31-32, 国立国語研究所, 2003年12月
- 籠宮隆之, 山住賢司, 槇洋一, 前川喜久雄: 『講演音声に対する印象評定尺度の作成と分析』, 『平成15年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp.39-40, 国立国語研究所, 2003年12月
- 前川喜久雄, 小磯花絵, 菊池英明, 間淵洋子, 斎藤美紀: 『『日本語話し言葉コーパス』に捉えられた言語変異現象』, 『平成15年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp.41-42, 国立国語研究所, 2003年12月
- 『『日本語話し言葉コーパス』公開版の仕様: 特に印象評定と韻律ラベルについて』, 『第3回話し言葉の科学と工学ワークショップ』, pp.7-14, 開放的融合研究「話し言葉工学」, 2004年2月
- 菊池英明, 塚原渉, 前川喜久雄: 『XMLを利用した『日本語話し言葉コーパス』(CSJ)の整合性検証』, 『第3回話し言葉の科学と工学ワークショップ』, pp.27-32, 開放的融合研究「話し言葉工学」, 2004年2月
- 塚原渉, 菊池英明, 前川喜久雄: 『『日本語話し言葉コーパス』のXML検索環境』, 『第3回話し言葉の科学と工学ワークショップ』, pp.33-38, 開放的融合研究「話し言葉工学」, 2004年2月
- 籠宮隆之, 山住賢司, 槇洋一, 前川喜久雄: 『講演音声の印象を評定する尺度とその分析』, 『第3回話し言葉の科学と工学ワークショップ』, pp.47-54, 開放的融合研究「話し言葉工学」, 2004年2月
- 籠宮隆之, 山住賢司, 槇洋一, 前川喜久雄: 『講演および講演者に対する評価の形成に関わる要因』, 『日本音響学会2004年春季研究発表会講演論文集I』, pp.343-344, 日本音響学会, 2004年3月
- 山住賢司, 籠宮隆之, 槇洋一, 前川喜久雄: 『講演音声に対する印象評価構造モデルの構築』, 『日本音響学会2004年春季研究発表会講演論文集I』, pp.345-346, 日本音響学会, 2004年3月
- “Corpus of Spontaneous Japanese: Its design and evaluation,” *Proc. ISCA & IEEE Workshop on Spontaneous Speech Processing and Recognition (SSPR2003)*, Vol.1, pp.7-12, ISCA, 2003.4
- Hideaki Kikuchi and Kikuo Maekawa: “Performance of segmental and prosodic labeling of spontaneous speech,” *Proc. ISCA & IEEE Workshop on Spontaneous Speech Processing and Recognition (SSPR2003)*, Vol.1, pp.191-194, ISCA, 2003.4
- Hideaki Kikuchi and Kikuo Maekawa: “Evaluation of the effectiveness of “X-JToBI”: A new prosodic labeling scheme for spontaneous Japanese speech,” *15th International Congress of Phonetic Sciences (ICPhS 2003)*, pp.579-582, International Phonetic Association, 2003.8
- Kikuo Maekawa, Hanae Koiso, Hideaki Kikuchi and Kiyoko Yoneyama: “Use of a large-scale spontaneous speech corpus in the study of linguistic variation,” *15th International Congress of Phonetic Sciences (ICPhS 2003)*, pp.643-646, International Phonetic Association, 2003.8
- Yasuyo Minagawa, Takayuki Kagomiya, and Kikuo Maekawa: “Durational variations of Japanese long/short vowels in different speaking rates: analysis of a spontaneous speech corpus,” *15th International Congress of Phonetic Sciences (ICPhS 2003)*, pp.2127-2130, International Phonetic Association, 2003.8
- Masako Fujimoto and Kikuo Maekawa: “Variation of phonation types due to paralinguistic information: An analysis of high-speed video images,” *15th International Congress of Phonetic Sciences (ICPhS 2003)*, pp.2401-2404, International Phonetic Association, 2003.8
- Kikuo Maekawa, Hideaki Kikuchi and Wataru Tsukahara: “Corpus of Spontaneous Japanese: Design, annotation and XML representation,” *Proceedings of the International Symposium on Large-scale Knowledge Resources (LKR2004)*, 1, pp.19-24, Tokyo Institute of Technology 21st Century COE Program, 2004.3
- “Production and perception of ‘paralinguistic’ information,” *Proceedings of International Conference: Speech Prosody 2004*, 1, pp.367-374, 2004.3

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 天野成昭, 佐久間尚子, 近藤公久, 笠原要, 梶川祥世, 乾敏郎, 前川喜久雄: 『言語心理学の新展開: 大規模デー

データベースの構築と利用」, 日本心理学会, 2003年9月

- “Japanese spontaneous speech corpus and its application to the study of linguistic variation,” Invited talk at the Institute of Linguistics, Academia Sinica, 2003.10

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成15年度 国立国語研究所公開研究発表会, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 第10回 国立国語研究所 国際シンポジウム 第1部会報告書 Spontaneous Speech: Data and Analysis, 編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 評価部会員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 英文概要部会長
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 施設整備委員会委員
- 移転整備実施委員会委員
- 移転整備実施委員会 全体計画班員

エ. 見学者への対応等 9件

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 言語聴覚士試験委員

イ. 学会活動

- 日本音声学会理事 (広報委員長, 国際交流委員長)・評議員
- 日本音響学会 査読委員
- 日本語学会 査読委員
- 査読 国内雑誌 5件
- 査読 海外雑誌 10件
- NSF grant review 1件

ウ. 教育活動

- 大阪大学文学部非常勤講師 (集中講義)

5 その他

- 総務省通信総合研究所研究員 (併任)

尾崎喜光 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (学校敬語・敬意表現調査報告)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 日韓新時代における若者の国際コミュニケーションのあり方と意識に関する研究 (代表者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答 1 件, 2004 年 3 月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「<暮らしの中のことば>わたしは「わたし」を使わない?」, 『ラジオ深夜便』 No. 36, pp. 118-119, 2003 年 4 月
- 「敬意表現とは」, 『日本医事新報』 No. 4157, pp. 97-98, 日本医事新報社, 2003 年 12 月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 「面接調査技法」, 総務省統計局統計基準部統計企画課 編『平成 14 年度 統計調査員確保対策事業の現況』, pp. 77-89, 総務省統計局統計基準部統計企画課, 2003 年 8 月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第 17 回ことばフォーラム「方言の科学ーことばのくにざかい富山ー」, 企画・運営
- 第 18 回ことばフォーラム「外字対応のヒントー図書館や電子政府の取り組みー」, 企画・運営
- 第 19 回ことばフォーラム「ことばを探すー語彙の世界に遊ぶー」, 企画・運営

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』 13, 企画・編集
- 『日本語科学』 14, 企画・編集
- 『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 世界の言語テスト I』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員

4 所外活動

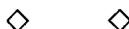
ウ. 教育活動

- 文教大学文学部非常勤講師

5 その他

- 「<暮らしの中のことば>親言葉」, NHK ラジオ第一放送「ラジオ深夜便」, 2003 年 5 月
- 「<暮らしの中のことば>『そうだろ?』と『そうやろ?』は同じ?」, NHK ラジオ第一放送「ラジオ深夜便」, 2003 年 8 月
- 「言葉遣い矯正法案」, FM 東京放送「Morning Freeway」, 2003 年 8 月
- 「<暮らしの中のことば>『おぼんでございます!』」, NHK ラジオ第一放送「ラジオ深夜便」, 2003 年 11 月

- 【コメント】「<ことばの交差点>さ入れ言葉」、『朝日新聞』、2003年12月
- 「<暮らしの中のことば>『電車が来たっばい!』」, NHK ラジオ第一放送「ラジオ深夜便」, 2004年1月
- 【インタビュー記事】「日本人の日本語は今」、『月刊日本語』17巻1号, 2004年1月
- 「<記念講演>コミュニケーションの道具としての日本語」, 徳島市統計調査推進協議会設立30周年記念大会, 徳島市役所, 2004年2月
- 「<記念講演>コミュニケーションの道具としての日本語」, 徳島市統計調査推進協議会設立30周年記念大会, 徳島市役所, 2004年2月



熊谷智子 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(学校敬語・敬意表現調査報告)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(A) 年少者日本語教育における学習環境と言語習得の研究(分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 日韓新時代における若者の国際コミュニケーションのあり方と意識に関する研究(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ17言葉の「正しさ」とは何か』 問答1件, 2004年3月

D 論文集等に掲載された論文

- 「日米の依頼行動における「詫び」と「説明」のストラテジー—在米日本人と在日米国人に対する言語行動意識調査から—」, 国松昭, 東信行, 湯本昭南, 高橋作太郎, 馬場彰, 早津恵美子 編『松田徳一郎教授追悼論文集』, pp.138-149, 研究社, 2003年7月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第11回国際シンポジウム「世界の<外来語>の諸相」, 協力

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ17言葉の「正しさ」とは何か』, 企画・編集
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第14巻 鳥取・島根・岡山(国立国語研究所 資料集13-14)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第15巻 広島・山口(国立国語研究所 資料集13-15)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第16巻 香川・徳島(国立国語研究所 資料集13-16)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第17巻 愛媛・高知(国立国語研究所 資料集13-17)』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会員
- 普及広報委員会 英文概要部会員
- 大学院運営委員会 政研大修士課程部会員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本語教育学会学会誌委員
- 社会言語科学会学会誌編集委員
- 異文化間教育学会紀要編集委員
- The 4th SIGdial Workshop on Discourse and Dialogue プログラム委員
- 査読 国内雑誌 31 件
- 査読 海外雑誌 4 件

5 その他

- 「論文投稿のコツ」, 社会言語科学会セミナー, 東京工芸大学, 2004 年 3 月



三井はるみ (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (方言文法全国地図)
- 大学院教育 (日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) (2) 大都市における消滅に瀕した伝統的方言の記録とデータベース作成 (代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) (1) 方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究 (分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) (2) 「談話資料」による方言コードの変容に関する研究 (分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答 1 件, 2004 年 3 月
- 『国語研の窓』 1 件
- 三井はるみ, 井上文子: 『共通語訳付き方言談話文字化テキストの電子化とその利用 (科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書)』, pp. 1-150, 2004 年 3 月

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「極限のとりたての地理的変異」, 沼田善子, 野田尚史 編『日本語のとりたてー現代語と歴史的变化・地理的変異ー』, pp. 123-142, くろしお出版, 2003 年 11 月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「新刊・寸感」, 『日本語学』 Vol. 22 No. 6, pp. 94-95, 明治書院, 2003 年 5 月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』 Vol. 22 No. 12, pp. 104-105, 明治書院, 2003 年 11 月
- 「言語圏 α : 日本語東京アクセントの成立」, 『月刊言語』 Vol. 33 No. 1, p. 122, 大修館書店, 2004 年 1 月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』13, 企画・編集
- 『日本語科学』14, 企画・編集
- 『新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か』, 企画・編集
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第14巻 鳥取・島根・岡山(国立国語研究所 資料集13-14)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第15巻 広島・山口(国立国語研究所 資料集13-15)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第16巻 香川・徳島(国立国語研究所 資料集13-16)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第17巻 愛媛・高知(国立国語研究所 資料集13-17)』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会員
- セクシャルハラスメント防止委員会委員

エ. 見学者への対応等 2件

4 所外活動

イ. 学会活動

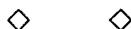
- 日本方言研究会事務局員
- 査読 国内雑誌 2件

ウ. 教育活動

- 共立女子大学文芸学部非常勤講師
- 千葉大学教育学部非常勤講師

5 その他

- 「ことばの地域差－方言の現在－」, 野田市市民セミナー「日本語の魅力再発見」第5回, 野田市南部梅郷公民館, 2003年12月
- 「ニッポンを知ろう! : 方言」コメント, スマ・ステーション, テレビ朝日, 2004年2月



大西拓一郎 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(方言文法全国地図)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(1) 方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究(代表者)
- 科学研究費補助金 萌芽研究 地理情報システム言語地図の開発(代表者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして>3 解説書 方言の旅』, 2004年3月
- 『国語研の窓』 2件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 井上史雄, 吉岡泰夫 編『近畿の方言』, ゆまに書房, 2003年11月
- 佐藤亮一 編『標準語引き日本方言辞典』, 小学館, 2004年1月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「日本の方言紀行」, 『NHK アナウンサーのはなす きく よむ』, pp.130-135, 日本放送出版協会, 2003年4月
- 「書評 井上史雄著『東北方言の変遷—庄内方言歴史言語学的貢献—』」, 『音声研究』Vol.7 No.2, pp.133-136, 日本音声学会, 2003年8月
- 「方言における「コソ～已然形」係り結び」, 『国語学』Vol.54 No.4, pp.31-43, 国語学会, 2003年10月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- “Proto-Japanese and the question of dialects,” *Abstract booklet of the 16th International Conference on Historical Linguistics*, pp.217-217, International Conference on Historical Linguistics, 2003.8

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「方言の東西境界と富山」, 第17回ことばフォーラム「方言の科学—ことばのくにざかい富山—」, 2003年11月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第17回ことばフォーラム「方言の科学—ことばのくにざかい富山—」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして>3 方言の旅』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会
- 普及広報委員会 企画調整部会
- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会長

エ. 見学者への対応等 2件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 国語学会編集委員
- 日本音声学会企画委員
- 査読 国内雑誌 4件

5 その他

- 「現代日本語事情」, 千葉市民大学, 千葉市文化センター, 2003年6月
- NHK ラジオ第2放送「はなす きく よむ」, 2003年11月
- フジテレビ「めざましテレビ」, 2003年11月

- TBS テレビ「砂の器」, 2004年1月



當眞千賀子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (学校敬語・敬意表現調査報告)
- 大学院教育 (日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(A)(2) 年少者日本語教育における学習環境と言語習得の研究 (分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(1) 方言-共通語の言語的多様性に関するエスノグラフィーを实践する参加型学習の創造- (分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして>3 解説書 方言の旅』, 2004年3月
- 『新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答1件, 2004年3月
- 『国語研の窓』 1件

B 所員が執筆・編集した単行本

- Chikako Toma & James Wertsch, "The multiple agendas of intersubjectivity in children's group text writing activity," C. Raeff & J. B. Benson eds., *Social and cognitive development in the context of individual, social and cultural processes*, pp.131-146, Routledge, 2003.

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「発達のキーワード 7項目 【導かれた参加, 社会・文化・歴史的アプローチ, 媒介手段, 談話分析, 発達の最近接領域, 生涯発達, ダイナミックシステムズアプローチ】」, 『AERAMook 新版 心理学がわかる』No. 89, pp.159-160, 朝日新聞社, 2003年5月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か』, 協力
- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして>3 方言の旅』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会員
- 図書館運営委員会 移転・公開部会員

4 所外活動

ア. 所外委員会

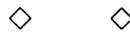
- お茶の水女子大学 子ども発達教育研究センター 客員研究員
- 東京学芸大学海外子女教育センター 研究プロジェクト「文化間移動と精神発達」委員

イ. 学会活動

- 日本発達心理学会 学会誌「発達心理学研究」 編集委員
- 査読 国内雑誌 5 件
- 査読 国内学会発表論文 2 件
- 日本心理学会 国際委員会 委員
- 発達心理学会国際ワークショップ公開講演会 通訳, 2003 年 8 月

ウ. 教育活動

- 茨城大学人文学部集中講義講師



小磯花絵 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (話し言葉コーパス)
- 科学研究費補助金 若手研究(B)(2) 自発音声コーパスを用いた音声転訛現象の言語内的・外的要因の分析 (代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 自発音声データに対する多元的アノテーション情報の XML 化に関する研究 (分担者)
- 科学技術振興調整費開放的融合研究推進制度採択課題 話し言葉の言語的・パラ言語的構造の解明に基づく『話し言葉工学』の構築

2 成果公表活動

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「コーパスによる音声談話の研究」, 『日本語学』 Vol. 22, pp. 200-209, 明治書院, 2003 年 4 月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 小磯花絵, 間淵洋子, 西川賢哉, 斎藤美紀, 前川喜久雄: 『日本語話し言葉コーパス』の書き起こしの仕様について, 『平成 15 年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp. 27-28, 国立国語研究所, 2003 年 12 月
- 竹内和広, 森本郁代, 高梨克也, 小磯花絵, 井佐原均: 『日本語話し言葉コーパス』における談話構造タグの仕様, 『平成 15 年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp. 37-38, 国立国語研究所, 2003 年 12 月
- 前川喜久雄, 小磯花絵, 菊池英明, 間淵洋子, 斎藤美紀: 『日本語話し言葉コーパス』に捉えられた言語変異現象, 『平成 15 年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp. 41-42, 国立国語研究所, 2003 年 12 月
- Kiyoko Yoneyama, Hanae Koiso, Janice Fon, "A corpus-based analysis on prosody and discourse structure in Japanese spontaneous monologues," *Proceedings of Spontaneous Speech Processing and Recognition(SSPR)*, pp. 13-16, 2003. 4
- Kazuhiro Takeuchi, Katsuya Takanashi, Ikuyo Morimoto, Hanae Koiso, Hitoshi Isahara, "Committee-based discourse purpose assignment: discourse structure annotations of spontaneous Japanese monologue," *Proceedings of Spontaneous Speech Processing and Recognition(SSPR)*, pp. 27-30, 2003. 4
- Kikuo Maekawa, Hanae Koiso, Hideaki Kikuchi, Kiyoko Yoneyama, "Use of a large-scale spontaneous speech corpus in the study of linguistic variation," *Proceedings of the International Congress of Phonetic Sciences(ICPhS)*, pp. 643-646, 2003. 8
- Kiyoko Yoneyama, Janice Fon, Hanae Koiso, "Durational and prosodic patterning at discourse boundaries in

Japanese spontaneous monologs,” *Proceedings of the International Congress of Phonetic Sciences (ICPhS)*, pp.2637-2640, 2003.8

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「談話構造と韻律特徴との関係ー『日本語話し言葉コーパス』を用いた予備的分析ー」, 視聴覚情報研究会 (AVIRG), 2003年8月
- 「パラ言語を調べてみよう」, 第16回ことばフォーラム「効果的なコミュニケーションー間やリズムを上手に使おうー」, 2003年9月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成15年度 国立国語研究所公開研究発表会, 企画・運営
- 第16回ことばフォーラム「効果的なコミュニケーションー間やリズムを上手に使おうー」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』13, 企画・編集
- 『日本語科学』14, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 普及広報委員会 公開研究発表会部会員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク基盤整備部会員

エ. 見学者への対応等 1件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 社会言語科学会事業委員会
- 社会言語科学会企画委員会
- 社会言語科学会大会委員会
- 査読 国内雑誌 1件



籠宮隆之（特別奨励研究員）

1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索（話し言葉コーパス）
- 科学技術振興調整費開放的融合研究推進制度採択課題「話し言葉の言語的・パラ言語的構造の解明に基づく『話し言葉工学』の構築」

2 成果公表活動

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 籠宮隆之, 山住賢司, 槇洋一, 前川喜久雄: 「講演音声に対する印象評定尺度の作成」, 『第17回日本音声学会全

- 国大会予稿集』, pp. 135-140, 日本音声学会, 2003年9月
- 籠宮隆之, 山住賢司, 槇洋一, 前川喜久雄: 「講演音声評定尺度を用いた音声評定の分析」, 『日本音響学会 2003年秋季研究発表会講演論文集』, pp. 369-370, 日本音響学会, 2003年9月
 - 山住賢司, 籠宮隆之, 槇洋一, 前川喜久雄: 「講演音声の特徴を捉える評価尺度の構築」, 『日本音響学会 2003年秋季研究発表会講演論文集』, pp. 371-372, 日本音響学会, 2003年9月
 - 籠宮隆之, 山住賢司, 槇洋一, 前川喜久雄: 「講演音声に対する印象評定尺度の作成と分析」, 『平成 15 年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp. 39-40, 国立国語研究所, 2003年12月
 - 藤本雅子, 籠宮隆之: 『日本語話し言葉コーパス』に見られる促音化, 『音声言語情報処理』No. 49, pp. 193-198, 情報処理学会, 2003年12月
 - 籠宮隆之, 山住賢司, 槇洋一, 前川喜久雄: 「講演音声の印象を評定する尺度とその分析」, 『第 3 回話し言葉の科学と工学ワークショップ講演予稿集』, pp. 47-52, 開放的融合研究会「話し言葉工学」, 2004年2月
 - 藤本雅子, 籠宮隆之: 「話し言葉における語の促音化—『日本語話し言葉コーパス』の分析—」, 『第 3 回話し言葉の科学と工学ワークショップ講演予稿集』, pp. 55-60, 開放的融合研究会「話し言葉工学」, 2004年2月
 - 籠宮隆之, 山住賢司, 槇洋一, 前川喜久雄: 「講演および講演者に対する評価の形成に関わる要因」, 『日本音響学会 2004年春季研究発表会講演論文集』Vol. I, pp. 343-344, 日本音響学会, 2004年3月
 - 山住賢司, 籠宮隆之, 槇洋一, 前川喜久雄: 「講演音声に対する印象評価構造モデルの構築」, 『日本音響学会 2004年春季研究発表会講演論文集』Vol. I, pp. 345-346, 日本音響学会, 2004年3月
 - 藤本雅子, 籠宮隆之: 「語の促音化の生起要因—『日本語話し言葉コーパス』の分析—」, 『日本音響学会 2004年春季研究発表会講演論文集』Vol. I, pp. 351-352, 日本音響学会, 2004年3月
 - Yasuyo Minagawa, Takayuki Kagomiya, Kikuo Maekawa, “Durational variations of Japanese long / short vowels in different speaking rates: analysis of a spontaneous speech corpus,” *Proceedings of ICPhS 2003*, pp. 2127-2130, International Phonetic Association, 2003.8

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本音声学会広報委員



齋藤 美紀 (特別奨励研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(話し言葉コーパス)
- 科学技術振興調整費開放的融合研究推進制度採択課題「話し言葉の言語的・パラ言語的構造の解明に基づく『話し言葉工学』の構築」

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 小磯花絵, 間淵洋子, 西川賢哉, 齋藤美紀, 前川喜久雄: 「転記テキストの仕様」, 『日本語話し言葉コーパス』, 国立国語研究所, 2004年3月(国語研究所ホームページに公開)
- 西川賢哉, 小椋秀樹, 相馬さつき, 小磯花絵, 間淵洋子, 土屋菜穂子, 齋藤美紀: 「文節の仕様について」, 『日本語話し言葉コーパス』, 国立国語研究所, 2004年3月(国語研究所ホームページに公開)

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 小磯花絵, 間淵洋子, 西川賢哉, 斎藤美紀, 前川喜久雄: 『日本語話し言葉コーパス』の書き起こしの仕様について, 『平成 15 年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp. 27-28, 国立国語研究所, 2003 年 12 月
- 前川喜久雄, 小磯花絵, 菊池英明, 間淵洋子, 斎藤美紀: 『日本語話し言葉コーパス』に捉えられた言語変異現象, 『平成 15 年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp. 41-42, 国立国語研究所, 2003 年 12 月



塚原 渉（特別奨励研究員）

1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索（話し言葉コーパス）
- 科学技術振興調整費開放的融合研究推進制度採択課題 話し言葉の言語的・パラ言語的構造の解明に基づく『話し言葉工学』の構築

2 成果公表活動

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 菊池英明, 塚原 渉, 前川喜久雄: 『日本語話し言葉コーパス』(CSJ) の整合性検証, 『第 3 回話し言葉の科学と工学ワークショップ講演予稿集』, 開放的融合研究「話し言葉工学」, pp. 21-26, 2004 年 2 月
- 塚原 渉, 菊池英明, 前川喜久雄: 『日本語話し言葉コーパス』(CSJ) の XML 検索環境, 『第 3 回話し言葉の科学と工学ワークショップ講演予稿集』, pp. 27-32, 開放的融合研究「話し言葉工学」, 2004 年 2 月
- Kikuo Maekawa, Hideaki Kikuchi and Wataru Tsukahara: “Corpus of Spontaneous Japanese: Design, annotation and XML representation,” *Proceedings of the International Symposium on Large-scale Knowledge Resources (LKR2004)*, 1, pp. 19-24, Tokyo Institute of Technology 21st Century COE Program, 2004. 3



西川 賢哉（特別奨励研究員）

1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索（話し言葉コーパス）
- 科学技術振興調整費開放的融合研究推進制度採択課題 話し言葉の言語的・パラ言語的構造の解明に基づく『話し言葉工学』の構築

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 小磯花絵, 間淵洋子, 西川賢哉, 斎藤美紀, 前川喜久雄: 「転記テキストの仕様」, 『日本語話し言葉コーパス』, 国立国語研究所, 2004 年 3 月（国語研究所ホームページに公開）
- 西川賢哉, 小椋秀樹, 相馬さつき, 小磯花絵, 間淵洋子, 土屋菜穂子, 斎藤美紀: 「文節の仕様について」, 『日本語話し言葉コーパス』, 国立国語研究所, 2004 年 3 月（国語研究所ホームページに公開）
- 小椋秀樹, 山口昌也, 西川賢哉, 石塚京子, 木村睦子: 『日本語話し言葉コーパス』の形態論情報の概要, 『日本語話し言葉工学』, 2004 年 3 月（国語研究所ホームページに公開）

言葉コーパス』, 国立国語研究所, 2004年3月 (国語研究所ホームページに公開)

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 小磯花絵, 間淵洋子, 西川賢哉, 斎藤美紀, 前川喜久雄: 『日本語話し言葉コーパス』の書き起こしの仕様について, 『平成15年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp.27-28, 国立国語研究所, 2003年12月
- 小椋秀樹, 山口昌也, 西川賢哉, 石塚京子, 木村睦子: 『日本語話し言葉コーパス』における形態論情報の設計, 『平成15年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp.29-30, 国立国語研究所, 2003年12月



藤本雅子 (特別奨励研究員)

1 担当研究・事業課題名 (科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (話し言葉コーパス)
- 科学技術振興調整費開放的融合研究推進制度採択課題 話し言葉の言語的・パラ言語的構造の解明に基づく『話し言葉工学』の構築

2 成果公表活動

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 藤本雅子, 桐谷滋: 「東京方言と近畿方言における母音の無声化の比較」, 『音声研究』Vol.7 No.1, pp.58-69, 日本音声学会, 2003年4月
- 菊池英明, 前川喜久雄, 五十嵐陽介, 米山聖子, 藤本雅子: 『日本語話し言葉コーパス』の音声ラベリング, 『音声研究』Vol.7 No.3, pp.16-26, 日本音声学会, 2003年12月
- 「母音長と母音の無声化の関係-東京方言話者と大阪方言話者の比較-」, 『国語学』Vol.55 No.1, pp.2-15, 日本語学会, 2004年1月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 「母音長と母音の無声化の関係-東京方言話者と大阪方言話者の比較-」, 『国語学会2003年度春季大会予稿集』, pp.85-92, 国語学会, 2003年5月
- 「大阪方言話者における母音無声化時の喉頭調節」, 『2003年度日本音声学会全国大会予稿集』, pp.159-164, 日本音声学会, 2003年9月
- 「大阪方言話者の声門開大パターン-母音が無声化した場合-」, 『日本音響学会講演論文集』, pp.283-284, 日本音響学会, 2003年9月
- 菊池英明, 五十嵐陽介, 米山聖子, 藤本雅子, 前川喜久雄: 『日本語話し言葉コーパス』の音声ラベリングについて, 『平成15年度国立国語研究所公開研究発表会』, pp.31-32, 国立国語研究所, 2003年12月
- 藤本雅子, 籠宮隆之: 『日本語話し言葉コーパス』にみられる促音化, 『電気情報通信学会技術研究報告書SP2003-145』, pp.193-198, 電子情報通信学会/日本音響学会, 2003年12月
- 藤本雅子, 籠宮隆之: 「話し言葉における語の促音化-『日本語話し言葉コーパス』の分析-」, 『第3回話し言葉の科学と工学ワークショップ講演予稿集』, pp.55-60, 開放的融合研究「話し言葉工学」, 2004年2月
- 「母音無声化環境における母音長とモーラ長」, 『日本音響学会講演論文集』, pp.227-228, 日本音響学会, 2004年3月
- 藤本雅子, 籠宮隆之: 「語の促音化の生起環境-『日本語話し言葉コーパス』の分析-」, 『日本音響学会講演論文集』, pp.351-352, 日本音響学会, 2004年3月
- Masako Fujimoto and Kikuo Maekawa, "Variation of phonation types due to paralinguistic information: An

analysis of high-speed video images," *Proceedings of the 15th International Congress of Phonetic Sciences (ICPhS)*, pp. 2401-2404, International Congress of Phonetic Sciences, 2003. 8

- Masako Fujimoto and Shigeru Kiritani, "Vowel duration and its effect on the frequency of vowel devoicing in Japanese: A comparison between Tokyo- and Osaka dialect speakers," *Proceedings of the 15th International Congress of Phonetic Sciences*, pp. 3189-3192, International Congress of Phonetic Sciences (ICPhS), 2003. 8
- "Effects of consonant type and syllable position within a word on vowel devoicing in Japanese," *Proceedings of the International Conference of Speech Prosody 2004*, pp. 625-628, International Conference of Speech Prosody 2004, 2004. 3

日本語教育部門

杉戸清樹 (部門長)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索(学校敬語・敬意表現調査報告)
- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語の現在(意識調査)
- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成
- 日本語教育研修
- 大学院教育(日本言語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 外国人被災者のための「やさしい日本語」を用いた災害時の情報伝達についての研究(分担者)
- 群馬県政策調査調整費 政策調査研究 多文化共生社会における国語教育のあり方(委嘱共同研究者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『海外言語政策関連参考資料1「韓国『国語基本法制定(案)説明資料』』, 2004年3月
- 『海外言語政策関連参考資料2「韓国『国語発展総合計画(案)』』, 2004年3月
- 『行政情報を分かりやすく伝える言葉遣いの工夫に関する意識調査(自治体調査報告書)』, 2004年3月
- 『外来語に関する意識調査(全国調査報告書)』, 2004年3月
- 『新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答1件, 2004年3月
- 『国語研の窓』 1件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「表現行動の基盤」, 中村明, 杉戸清樹, 半澤幹一 編『テキスト日本語表現』, pp.23-44, 明治書院, 2003年7月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「やさしい日本語の「分かりやすさ」「有効性」の多面性を考える」, 「やさしい日本語」を用いた災害時の情報伝達についての研究会, 2003年6月
- 「目標としての「シミュレーション」から逆算した準備作業を」, 「やさしい日本語」を用いた災害時の情報伝達についての研究会, 2003年12月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第11回国際シンポジウム「世界の〈外来語〉の諸相」, 企画・運営
- 第16回ことばフォーラム「効果的なコミュニケーションー間やリズムを上手に使おうー」, 協力
- 日本語教育短期研修第3回「日本語教育における文法の役割」, 協力

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育論集』20号, 企画・編集
- 『平成15年度日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 韓国アンケート調査集計結果報告書』, 刊行物検討委員会委員長
- 『平成15年度日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究報告書 世界の言語テストI』, 刊行物検討委員会委員長
- 『日本語教育年鑑2003年版』, 企画・編集
- 『分類語彙表-増補改訂版-』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育ブックレット5 論理的文章作成能力の育成に向けて』, 刊行物検討委員会委員長
- 『日本語教育ブックレット6 地域の日本語教育と視聴覚教材』, 刊行物検討委員会委員長

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 研究企画調整部会長
- 研究計画委員会 刊行企画部会長
- 国際交流委員会委員
- 国際交流委員会 研究交流企画部会長
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 企画部会委員
- ネットワーク運営委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 普及啓発図書企画部会長
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 企画調整部会長
- 大学院運営委員会 政研大博士課程部会長
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員
- 「外来語」所内委員会委員
- 移転整備実施委員会委員
- 移転整備実施委員会 企画部会委員
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム所内委員会委員

エ. 見学者への対応等 3件

4 所外活動

ア. 所外委員会

- アジア福祉教育財団難民事業本部 定住難民日本語学習援助委員会 委員
- 国際日本語普及協会 日本語ボランティア活動支援・推進事業委員会 委員
- 大学評価・学位授与機構 大学評価委員会 分野別研究評価 評価員
- 日本国際教育協会 日本語教育能力検定試験実施委員会 委員
- 日本放送協会 放送用語委員会 委員

イ. 学会活動

- 国語学会 評議員
- 日本言語学会 委員
- 日本語教育学会 常任理事 副会長
- 日本語教育学会 財政検討委員会 委員長
- 社会言語科学会 理事 (2003年7月まで)

- 日本方言研究会 世話人
- 査読 国内雑誌 1 件

ウ. 教育活動

- 名古屋外国語大学 平成 15 年度博士学位論文審査委員

5 その他

- 明治書院 月刊誌『日本語学』 編集委員

日本語教育部門第一領域

石井恵理子（領域長）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(国内諸機関における学習と教育に関する情報の収集・分析、公表/日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析)
- 日本語教育研修(長期研修/短期研修)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム/日本言語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(A)(2) 年少者日本語教育における学習環境と言語習得の研究(代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 日韓新時代における若者の国際コミュニケーションのあり方と意識に関する情報の収集・分析(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『日本語教育年鑑 2003 年版』, 2003 年 8 月
- 『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 韓国アンケート調査集計結果報告書』, 2004 年 3 月
- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』 解説 1 件, 2004 年 3 月
- 『国語研の窓』 2 件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「ひらがなの指導」, 「カタカナの指導」, 小池生夫, 小出祥子, 河野守夫, 鈴木博, 田中晴美, 田辺洋二, 水谷修編『応用言語学事典』, pp. 798-799, 研究社, 2003 年 4 月

E 口頭・ポスター発表(予稿集あり)

- 「日本語教育におけるパラダイムの転換と教科書の役割」, 韓国日本語教育学会 編『韓国日本語教育学会予稿集』, 韓国日本語教育学会, 2003 年 5 月
- 石井恵理子, 岡部真理子, 下平菜穂, 富谷玲子: 「学習リソースの再検討: 日本語学習の多様性を読み解くためのフレームワーク作りに向けて」, 『言語政策学会第 2 回大会』, 言語政策学会, 2003 年 6 月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「多言語環境下の子どもに対する学習支援」, 日本語教育短期研修第 1 回「多言語環境下の子どもの言語発達・言語学習」, 2003 年 8 月
- 「教師の役割(分科会 E)」, 日本語教育短期研修第 4 回「日本語学習をとらえなおす」, 2003 年 12 月
- 「漢字教育の見直し」, 日本語教育短期研修第 5 回「ひろげる・つなぐ 漢字教育の工夫」, 2004 年 2 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 日本語教育短期研修第 2 回「作文教育における, 日本語教師と大学専門教員との協力のために」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第 3 回「日本語教育における文法の役割」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第 4 回「日本語学習をとらえなおす」, 企画・運営

- 日本語教育短期研修第5回「ひろげる・つなぐ 漢字教育の工夫」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育論集』20号, 企画・編集
- 『平成13年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 タイ(バンコック) アンケート調査集計結果報告書(タイ語版)』, 協力
- 『平成15年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 韓国アンケート調査集計結果報告書』, 企画・編集
- 『日本語教育年鑑2003年版』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 評価部会委員
- 研究計画委員会 刊行企画部会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 企画調整部委員
- 大学院運営委員会 政研大修士課程部会長
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員
- セクシャルハラスメント防止委員会委員
- 移転整備実施委員会委員
- 移転整備実施委員会 全体計画班員

エ. 見学者への対応等 2件

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 学校教育におけるJSLカリキュラム(中学校編)の開発に係る協力者会議(文部科学省初等中等教育局)副主査
- 海外日本語教育支援NGO助成事業(国際交流基金)審査委員
- 学校の余裕教室等を活用した親子参加型の日本語教室の開設事業(文化庁)企画・評価会議協力者
- 地域日本語教育活動の充実方策に関する調査研究(文化庁)協力者

イ. 学会活動

- 日本語教育学会評議員
- 査読 国内雑誌 5件

ウ. 教育活動

- 千葉大学非常勤講師

5 その他

- 「パネルディスカッション 外国出身の子どもたちへの有効な支援」, シンポジウム「外国出身の子どもの教育と適応」特定非営利活動法人国際ボランティアセンター山形(IVY), 山形市男女共同参画センター, 2003年7月
- 「日本語教育の現状」日本語適応指導教室担任研修会(北区教育委員会), 北区立西ヶ原小学校, 2003年7月
- 「演習B 教科志向型JSLカリキュラムの授業作り」, 平成15年度外国人児童生徒等日本語指導講習会(文部科学省・独立行政法人教員研修センター), 2003年8月

金田智子 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析)
- 日本語教育研修(長期研修/短期研修)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム/日本語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 今後の日本語教師教育のための指導者の役割とリーダーシップに関する研究(分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 日本語コミュニケーション能力の養成に関する教師の実践的知識の研究(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「平成14年度 第6回 国立国語研究所日本語教育短期研修(第6回視聴覚教材フォーラム)「地域における日本語学習支援—視聴覚教材利用の可能性—」ワークショップ活動事例集, 国立国語研究所日本語教育部門, 2003年8月
- 『平成13年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(バンコック) アンケート調査集計結果報告書(タイ語版)』, 2003年9月
- 『平成15年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 韓国アンケート調査集計結果報告書』, 2004年3月
- 「多様化にこたえる日本語教育—地域における日本語学習支援から学べること—」, 『日本語教育ブックレット6 地域における日本語学習支援』, 2004年3月
- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして>3 解説書 方言の旅』, 2004年3月
- 『新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答1件, 2004年3月

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「自ら発信するプロジェクトワーク 1~3」, 東京外国語大学留学生日本語教育センター 編『日本事情テキストパッカー—新たな授業構築に向けて—(CD-ROM教材)』, 東京外国語大学留学生日本語教育センター, 2003年9月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「新刊・寸感」, 『日本語学』Vol.22 No.9, pp.104-105, 明治書院, 2003年8月
- 「新刊・寸感」, 『日本語学』Vol.23 No.2, pp.104-105, 明治書院, 2004年2月

F 口頭・ポスター発表(予稿集なし)

- 「なぜ授業観察・授業分析か—その1—」, 日本語教育上級研修レクチャー第2回, 2003年5月
- 「日本語の勉強って楽しい?」, 第15回ことばフォーラム「日本語を外から眺める」, 2003年7月
- 金田智子, 小河原義朗: 「自己研修型教師を目指した現職者研修: 国研の長期研修」, 日本語教育学会研究集会(第12回), 2004年3月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第11回国際シンポジウム「世界の<外来語>の諸相」, 司会
- 日本語教育短期研修第1回「多言語環境下の子どもの言語発達・言語学習」, 運営・分科会司会

- 日本語教育短期研修第2回「作文教育における，日本語教師と大学専門教員との協力のために」，協力
- 日本語教育短期研修第4回「日本語学習をとらえなおす」，企画・運営・司会
- 日本語教育短期研修第5回「ひろげる・つなぐ 漢字教育の工夫」，運営・司会

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育論集』20号，企画・編集
- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして>3 方言の旅』，企画・編集
- 『日本語教育年鑑 2003年版』，企画
- 『日本語教育ブックレット6 地域の日本語教育と視聴覚教材』，企画・編集

ウ. 各種委員会・部会，研究支援等

- 普及広報委員会 普及啓発図書企画部会委員
- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会委員
- 大学院運営委員会 政研大博士課程部会委員
- セクシャルハラスメント防止委員会委員

エ. 見学者への対応等 1件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 社団法人日本語教育学会研修委員会委員
- 日本総合学会評議員
- 査読 国内雑誌 10件

ウ. 教育活動

- 日本語教育学会主催日本語教育研究コース オンライン実践研究コース コーディネーター(2003年度第2期)
- 広島大学留学生センター客員研究員

5 その他

- 「日本語教育における研究テーマの展開について－授業研究を中心に－」，社団法人国際日本語普及協会 (AJALT) 会員定例研修会，2003年7月
- 「教師に求められるコミュニケーション力」，アルク『月刊日本語』主催「日本語教師のためのブラッシュアップセミナー」，アルク出版，2004年1月
- テーマ別リレー討論「(日本人の)多文化コミュニケーション能力」指定討論者，琉球大学留学生センターシンポジウム，琉球大学留学生センター，2004年2月



井上優 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究(アジア版対訳コーパス/欧米版対訳コーパス)
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育研修(短期研修)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム/日本言語文化研究プログラム)

- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(1) 方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究 (分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 東アジア諸語のカテゴリー化と文法化に関する対照研究－多様性から普遍性へ－ (分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(1) 対照研究の成果を生かした中国語母語話者向け日本語文法教材の開発 (分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『日本語教育ブックレット 5 論理的作文能力の育成に向けて』, 2004年3月
- 『日本語教育ブックレット 6 地域における日本語学習支援』, 2004年3月
- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答1件, コラム1件, 2004年3月
- 『国語研の窓』 1件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「こちら国語研究所：ことばに「文法」を見る」, 『NHK アナウンサーのはなす きく よむ』, pp. 50-55, 日本放送出版協会, 2003年4月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「新刊・寸感 (文章を書くためのトレーニング, 「象は鼻が長い」入門, 日本文法講座)」, 『日本語学』Vol. 22 No. 7, pp. 118-120, 2003年6月
- 「中国的外来語受容法」, 『日本語学』Vol. 22 No. 8, pp. 61-67, 明治書院, 2003年6月
- 「のだ」文と“的”構文」, 『中国語学』No. 250, pp. 264-274, 日本中国語学会, 2003年10月
- 「新刊・寸感 (『日語研究』第1輯)」, 『日本語学』Vol. 22 No. 12, pp. 92-94, 明治書院, 2003年12月

D 論文集等に掲載された論文

- 「日本語と中国語の「変化」の表現」, 筑波大学現代言語学研究会 編『次世代の言語研究Ⅲ』, pp. 147-156, 筑波大学現代言語学研究会, 2004年1月

F 口頭・ポスター発表 (予稿集なし)

- 「テンスの有無と文法現象」, 日中対照言語学会第9回大会 (大東文化会館), 2003年6月
- 「対照研究の役割と意義」, 韓国日本語学会研究会 (韓国・世宗大学校), 2003年10月
- 「文法をどう勉強するか」, 日本語教育短期研修第3回「日本語教育における文法の役割」, 2003年12月
- 「日本語教育を生かした日本語教育文法」, 北海道大学留学生センター日本語・日本語教育講演会 「日本語教育文法ワークショップーコミュニケーション能力を高めるためにー」, 2004年3月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成15年度 国立国語研究所公開研究発表会, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第2回「作文教育における, 日本語教師と大学専門教員との協力のために」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第3回「日本語教育における文法の役割」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第4回「日本語学習をとらえなおす」, 企画・運営
- 日本語教育短期研修第5回「ひろげる・つなぐ 漢字教育の工夫」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』13, 協力
- 『日本語科学』14, 協力

- 『日本語教育論集』20号, 協力
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第14巻 鳥取・島根・岡山(国立国語研究所 資料集 13-14)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第15巻 広島・山口(国立国語研究所 資料集 13-15)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第16巻 香川・徳島(国立国語研究所 資料集 13-16)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第17巻 愛媛・高知(国立国語研究所 資料集 13-17)』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育ブックレット5 論理的文章作成能力の育成に向けて』, 企画・編集
- 『日本語教育ブックレット6 地域における日本語学習支援』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会部会長
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 研究発表会部会部会長
- 普及広報委員会 英文概要部会員

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 北京日本学研究センター在職修士課程諮問委員

イ. 学会活動

- 日本語学会(国語学会)評議員
- 日本語学会(国語学会)編集委員
- 日本語文法学会評議員
- 日本語文法学会学会誌委員
- 日本語教育学会学会誌委員
- 査読 国内雑誌 44件

ウ. 教育活動

- 神田外語大学非常勤講師
- 千葉大学非常勤講師

5 その他

- NHK ラジオ「NHK アナウンサーのはなす きく よむ」, 2003年5月



宇佐美洋 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究(アジア版対訳コーパス/欧米版対訳コーパス)
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- ITを活用した日本語学習環境の整備

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築(日本語教育年鑑)
- 日本語教育研修(長期研修/短期研修)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (2) 日本語学習者による日本語発話と、母語発話との対照データベース開発・応用のための研究 (代表者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答 1 件, 解説 1 件, 2004 年 3 月

F 口頭・ポスター発表 (予稿集なし)

- 「日本語学習者による, 日本語・母語発話対照データベースの設計について」, 韓国日本語研究会, 2003 年 6 月
- 「違和感を考えるためのきっかけ」, 第 15 回ことばフォーラム「日本語を外から眺める」, 2003 年 7 月
- 「Web・DB 連携による, 作文・添削情報の流通集積システム—その具体的運用方法—」, 第 8 回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム, 2003 年 9 月
- 「日本語学習者による日本語作文と, その母語訳との対訳データベース—拡張版の開発について—」, IT を活用した日本語教育指導能力向上研修「コンピュータと新日本語教育 2003」, 2003 年 12 月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 日本語教育短期研修第 2 回「作文教育における, 日本語教師と大学専門教員との協力のために」, 企画・運営・司会
- 日本語教育短期研修第 4 回「日本語学習をとらえなおす」, 協力
- 作文教育研究委員会, 企画

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育論集』20 号, 企画・編集
- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』, 企画・編集
- 『日本語教育ブックレット 5 論理的文章作成能力の育成に向けて』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 企画調整部会委員
- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会長
- 図書館運営委員会 移転・公開部会委員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク運用管理部会委員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 査読 国内雑誌 1 件

ウ. 教育活動

- 大東文化大学非常勤講師
- 愛知県立大学 非常勤講師

福永由佳（研究員）

1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築（日本語教育年鑑）
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究（各種研修の実情情報の蓄積・分析）
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究（国内諸機関における学習と教育に関する情報の収集・分析、公表／日本語教育・学習環境調査，資料整理分析／教師教材についての教師用指導参考書刊行）
- 日本語教育研修（長期研修）
- 大学院教育（日本語教育指導者養成プログラム）
- 科学研究費補助金 基盤研究（C）(2) 日本語コミュニケーション能力の養成に関する教師の実践的知識研究（代表者）
- 科学研究費補助金 基盤研究（C）日本語学習者と環境との相互作用に関する研究（分担者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『「ことばビデオ」シリーズ＜豊かな言語生活をめざして＞3 解説書 方言の旅』，2004年3月
- 『国語研の窓』 1件

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 日本語教育短期研修第4回「日本語学習をとらえなおす」，分科会「教科書をとらえなおすー学習に役立てるためにー」，企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育年鑑 2003年版』，協力
- 平成14年度第6回国立国語研究所日本語教育短期研修（第6回視聴覚教材フォーラム）「地域における日本語学習支援ー視聴覚教材利用の可能性ー」ワークショップ事例集，企画・編集
- 『日本語科学』13，企画・編集
- 『日本語科学』14，企画・編集
- 『「ことばビデオ」シリーズ＜豊かな言語生活をめざして＞3 方言の旅』，企画・編集

ウ. 各種委員会・部会，研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会委員
- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会委員

4 所外活動

ウ. 教育活動

- 島根大学非常勤講師

杉本明子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析)
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語教育研修(短期研修)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究 (C)(2) インターネット・マルチメディアを利用した日本語教育実践の可能性と効果に関する研究 (代表者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「ヨーロッパの言語テストの共通枠組み—ALTE Framework—」, 杉本明子, 菅井英明 編『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 世界の言語テスト I』, 2004 年 3 月
- 『インターネット・マルチメディアを利用した日本語教育実践の可能性と効果に関する研究 (科学研究費補助金 基盤研究(C)(2)研究成果報告書)』, 2004 年 3 月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「世界の言語研究所(13): 欧州現代言語センター (オーストリア)」, 『日本語科学』, Vol. 13, pp. 123-125, 2003 年 4 月
- 「世界の言語研究所(14): 国立英語学習到達研究センター(アメリカ合衆国)」, 『日本語科学』, Vol. 14, pp. 113-116, 2003 年 10 月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 「日本語と英語の文章構造 —日本語学習者の電子掲示板上の意見文の分析—」, 『社会言語学会第 12 回大会発表論文集』, pp. 149-150, 社会言語学会, 大阪大学, 2003 年 10 月
- 「日本語学習者のディスコースに及ぼす電子メディアの影響: 電子掲示板と対面の議論の比較」, 『日本教育工学会第 19 回全国大会講演論文集』, pp. 701-702, 日本教育工学会, 岩手県立大学, 2003 年 10 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 日本語教育短期研修第 1 回「多言語環境下の子どもの言語発達・言語学習」, 協力
- 日本語教育短期研修第 2 回「作文教育における, 日本語教師と大学専門教員との協力のために」, 協力
- 日本語教育短期研修第 4 回「日本語学習をとらえなおす」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』13, 企画・編集
- 『日本語科学』14, 企画・編集
- 『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 世界の言語テスト I』, 企画・編集, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会委員
- 図書館運営委員会 図書選定部会委員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本語教育学会学会誌委員
- 査読 国内雑誌 6件

ウ. 教育活動

- 日本語教育学会日本語教育研究コース講師
- NHK 放送研修センター日本語教師養成セミナー非常勤講師



菅井英明 (研究員)

1 担当研究・事業課題名 (科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析)
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語教育研修(長期研修)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2) 外国人定住者の社会的統合に関する政策提言のための実態調査 (代表者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 「測定可能な言語能力とは」, 杉本明子, 菅井英明 編『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 世界の言語テスト I』, 2004 年 3 月
- 「日本語能力試験と日本留学試験－到達度テストと熟達度テストの相違を見る－」, 杉本明子, 菅井英明 編『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 世界の言語テスト I』, 2004 年 3 月
- 『国語研の窓』1 件

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 「言語テストが誰でも公平にくぐれる関門となるために必要な条件」, 『日本言語政策学会 第 2 回大会』, pp. 34-35, 日本言語政策学会, 2003 年 6 月

F 口頭・ポスター発表 (予稿集なし)

- 「テストアイテム保存用データベース」, IT を活用した日本語教育指導能力向上研修「コンピュータと新日本語教育 2003」, 2003 年 12 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成 15 年度 国立国語研究所公開研究発表会, 企画・運営
- 第 11 回国際シンポジウム「世界の〈外来語〉の諸相」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 世界の言語テスト I』, 企画・編集, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 公開研究発表会部会委員



小河原義朗 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究(アジア版対訳コーパス/欧米版対訳コーパス)
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(国内諸機関における教師教育に関する情報の収集・分析/各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析)
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語教育研修(長期研修)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム)
- 科学研究費補助金 若手研究 (B) (2) 外国人の日本語の発音に対する日本人評価の研究—方法論の検討と日本語教育への応用— (代表者)
- 総務省戦略的情報通信研究開発推進制度 若手先端 IT 研究者育成型研究開発 発話を重視した日本語 e-Learning システムの開発 (分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『平成 13 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 タイ (バンコック) アンケート調査集計結果報告書 (タイ語版)』, 2003 年 9 月
- 『平成 15 年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 韓国アンケート調査集計結果報告書』, 2004 年 3 月
- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答 1 件, 2004 年 3 月
- 『国語研の窓』 2 件

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 河野俊之, 小河原義朗: 「教育実習で授業を学ぼう」, 『月刊日本語』, 2003 年 4 月-2004 年 3 月連載
- 「外国人と日本語で話す」, 日本放送協会, 日本放送出版協会編『NHK アナウンサーのはなす きく よむ』, pp. 178-183, 日本放送出版協会, 2003 年 4 月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 小河原義朗, 池田優子: 「日本語音声教育におけるコンピュータ利用の可能性」, 『日本語教育方法研究会誌』, Vol. 10 No. 2, pp. 6-7, 日本語教育方法研究会, 2003 年 9 月

F 口頭・ポスター発表 (予稿集なし)

- 小河原義朗, 池田優子: 「リソース型音声教育支援システムの開発」, コンピュータと新日本語教育, 2003 年 12 月
- タナサーンサーニー美香, 佐藤純, 小河原義朗, 湯山佳代, 千葉真人: 「「リソース」の観点から授業を考える—学習者は何を使って学習しているか—」, タイ国日本語教育研究会第 16 回年次セミナーシンポジウム, 2004 年 3

月

- タナサーンセーニー美香, 小河原義朗, 佐藤純:「教師は何を使って教えているか」, タイ国日本語教育研究会第16回年次セミナー分科会, 2004年3月
- 金田智子, 小河原義朗:「自己研修型教師を目指した現職者研修:国研の長期研修」, 日本語教育学会研究集会(第12回), 2004年3月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第15回ことばフォーラム「日本語を外から眺める」, 企画・運営・司会
- 第17回ことばフォーラム「方言の科学—ことばのくにざかい富山—」, 協力
- 第19回ことばフォーラム「ことばを探す—語彙の世界に遊ぶ—」, 協力
- 日本語教育短期研修第4回「日本語学習をとらえなおす」, 協力

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育論集』20号, 企画・編集
- 『平成13年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 タイ(バンコック) アンケート調査集計結果報告書(タイ語版)』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集
- 『平成15年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 韓国アンケート調査集計結果報告書』, 刊行物検討委員会委員, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会委員
- 図書館運営委員会 図書選定部会委員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本語教育学会研究集会委員会中央委員
- 日本語教育方法研究会運営委員
- 査読 国内雑誌 14件

ウ. 教育活動

- 国際交流基金大韓民国高等学校日本語教師研修非常勤講師
- 日本語教育学会平成15年度日本語教育研究コース第2期テーマ別研究コース「音声教育—教師は何ができればならないか—」講師

5 その他

- 「学習者の視点から音声教育を考える」横浜日本語教育フォーラム, アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター, 2003年12月
- 「外国人と日本語で話す」, NHKラジオ第2放送, 「NHKアナウンサーのはなす きく よむ」出演, 2004年1月

梶本総子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育のための言語資源及び学習内容に関する調査研究(アジア版対訳コーパス/欧米版対訳コーパス)
- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育研修(長期研修/短期研修)
- 大学院教育(日本語教育指導者養成プログラム)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答1件, コラム1件, 2004年3月

B 所員が執筆・編集した単行本

- 梶本総子, 宮谷教美:『聞いて覚える話し方 日本語生中継 中～上級編』, くろしお出版, 2003年3月
- 梶本総子, 宮谷教美:『聞いて覚える話し方 日本語生中継 中～上級編 教師用マニュアル』, くろしお出版, 2003年3月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 日本語教育短期研修第2回「作文教育における, 日本語教師と大学専門教員との協力のために」, 協力
- 日本語教育短期研修第4回「日本語学習をとらえなおす」, 企画・運営・協力

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育ブックレット5 論理的文章作成能力の育成に向けて』, 協力

4 所外活動

イ. 学会活動

- 査読 国内雑誌 1件

ウ. 教育活動

- 成蹊大学非常勤講師

日本語教育部門第二領域

柳澤好昭（領域長）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語教育の教師教育の内容と方法に関する調査研究(国内諸機関における教師教育に関する情報の収集・分析／各種研修の実情情報の蓄積・分析)
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究(日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析)
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築(日本語教育年鑑)
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成(日本語教育教材の素材提供／バーチャル日本語情報資料館システム)
- 日本語教育研修(遠隔研修)
- 大学院教育(日本語文化研究プログラム)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 今後の日本語教師教育のための指導者の役割とリーダーシップに関する研究(代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(A)(2) 年少者日本語教育における学習環境と言語習得の研究(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『日本語教育年鑑 2003年版』, 2003年8月
- 『平成13年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 タイ(バンコック) アンケート調査集計結果報告書(タイ語版)』, 2004年3月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語教育年鑑 2003年版』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 図書館運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会委員
- 大学院運営委員会 政研大修士課程部会委員
- 施設整備委員会委員
- 移転整備実施委員会委員
- 移転整備実施委員会 全体計画班員

エ. 見学者への対応等 2件

4 所外活動

イ. 学会活動

- (社) 日本語教育学会評議員

ウ. 教育活動

- 高知大学集中講座講師
- 拓殖大学言語文化研究所非常勤講師



島村直己 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名 (科研費等も含む)

- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 (日本語教育・学習環境調査, 資料整理分析)
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 科学研究費補助金 基盤研究 (A) (1) 児童・生徒の言語能力と言語生活 (代表者)

2 成果公表活動

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「読書活動の推進と学力向上」, 『教職研修』, Vol.4, pp.74-79, 教育開発研究所, 2003年12月
- 島村直己, 小森茂, 田近洵一, 松崎正治, 古田啓: 「国語の誕生」, 『国語教育史研究』No.1, pp.24-31, 国語教育史学会, 2004年3月
- 島村直己, 古田啓: 「陸軍省「兵器名称用制限漢字表」昭和15年2月29日」, 『国語教育史研究』No.1, pp.80-81, 国語教育史学会, 2004年3月

D 論文集等に掲載された論文

- 「近代日本のリテラシー (3) - 明治初中期のリテラシー」, 『言語生活研究』No.3, pp.3-10, 島村直己, 2003年11月
- 「小学校の教則と教科の時間配当 - 学制期から現在まで」, 『言語生活研究』No.3, pp.11-36, 島村直己, 2003年11月
- 「大学生の敬語」, 『言語生活研究』No.3, pp.37-50, 島村直己, 2003年11月
- 「データ分析 (1) - 平均値の推定と検定」, 『言語生活研究』No.3, pp.51-56, 島村直己, 2003年11月
- 島村直己, 鶴岡昭夫, 正保勇: 「国立国語研究所の語彙調査 - 資料集」, 国立国語研究所, 2004年2月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 島村直己, 矢部玲子: 「常用漢字の分類 - 小学校配当漢字の見直しのため」, 全国大学国語教育学会, 2003年5月
- 「幼児のひらがなの習得 - 最終報告」, 日本読書学会, 2003年8月
- 島村直己, 小森茂, 田近洵一, 松崎正治, 古田啓: 「国語・日本語の意味分析 - SD法による」, 計量国語学会, 2003年9月
- 島村直己, 矢部玲子: 「音訓配当の変遷と展望」, 全国大学国語教育学会, 2003年10月
- 島村直己, 長野秀章: 「子どものことば遣い」, 日本教育心理学会, 2003年10月

植木正裕（研究員）

1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（日本語教育支援総合ネットワーク）
- 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究（映像教材の活用に関する研究会等の開催，実践例の収集／教師教材についての教師用指導参考書刊行）
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 大学院教育（日本語教育指導者養成プログラム／日本言語文化研究プログラム）

2 成果公表活動

E 口頭・ポスター発表（予稿集あり）

- 川村よし子，植木正裕，金庭久美子，川村ヒサオ，根津誠，保原麗：「辞書ツール多言語化プロジェクトの基本構想」，『第8回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム方向発表論文集』，pp.89-94，ヨーロッパ日本語教師会，2003年9月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「分科会C「コンピュータを用いた学習環境作り」」，日本語教育短期研修第4回「日本語学習をとらえなおす」，2003年12月

3 上記以外の所内業務

A. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第19回ことばフォーラム「ことばを探すー語彙の世界に遊ぶー」，協力
- 日本語教育短期研修第4回「日本語学習をとらえなおす」，企画・運営
- ITを活用した日本語教育指導能力向上研修「コンピュータと新日本語教育2003」，企画・運営

I. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 平成14年度第6回国立国語研究所短期研修（第6回視聴覚教材フォーラム）「地域における日本語学習支援ー視聴覚教材利用の可能性ー」ワークショップ活動事例集，企画・編集

ウ. 各種委員会・部会，研究支援等

- ネットワーク運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク基盤整備部会員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 情報処理学会自然言語処理研究会運営委員
- 査読 国内学会全国大会 1件

早田美智子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築(日本語教育年鑑)
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成(日本語教育教材の素材提供)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『日本語教育年鑑 2003 年版』, 2003 年 8 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- IT を活用した日本語教育指導能力向上研修「コンピュータと新日本語教育 2003」, 協力

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 図書館運営委員会 移転・公開部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員
- レクリエーション委員会委員

エ. 見学者への対応等 2 件

情報資料部門

熊谷康雄（部門長）

1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成
- 科学研究費補助金 研究成果公開促進費（データベース）『日本言語地図』データベース（代表者）
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(1) 日本語方言形成モデルの構築に関する研究（分担者）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語年鑑 2003 年版』, 2003 年 12 月
- 『日本語ブックレット 2002』, 2004 年 3 月

B 所員が執筆・編集した単行本

- 計量日本語学研究会（荻野綱男（代表）、宮島達夫、真田信治、中野洋、熊谷康雄）編『計量日本語学集成』, 論説資料保存会, 2003 年 5 月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第 14 巻 鳥取・島根・岡山(国立国語研究所 資料集 13-14)』, 刊行物検討委員会委員長
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第 15 巻 広島・山口(国立国語研究所 資料集 13-15)』, 刊行物検討委員会委員長
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第 16 巻 香川・徳島(国立国語研究所 資料集 13-16)』, 刊行物検討委員会委員長
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第 17 巻 愛媛・高知(国立国語研究所 資料集 3-17)』, 刊行物検討委員会委員長

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 研究企画調整部会員
- 国際交流委員会委員
- 国際交流委員会 研究交流企画部会員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 企画調整部会員
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 企画部会員
- ネットワーク運営委員会委員長
- 大学院運営委員会委員
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員長

- セクシャルハラスメント防止委員会委員長
- 「外来語」所内委員会委員
- 「外来語」所内委員会 相談窓口部会長
- 移転整備実施委員会委員
- 移転整備実施委員会 企画部会員
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム所内委員会委員

エ. 見学者への対応等 3 件



米田正人 (上席研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の現在 (意識調査)
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 言語使用・言語意識に関する行動計量学的研究
- 研究拠点形成費補助金 「人類の幸福に資する社会調査」(21世紀COEプログラム)(分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B) 「外国人被災者のための『やさしい日本語』を用いた災害時の情報伝達についての研究」(分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『行政情報を分かりやすく伝える言葉遣いの工夫に関する意識調査(自治体調査報告書)』, 2004年3月
- 『外来語に関する意識調査(全国調査報告書)』, 2004年3月

D 論文集等に掲載された論文

- 米田正人, 梁敏鎬: 「日中韓学生意識調査」, 『日本イメージ・中国イメージの形成に関する日中共同研究』, pp. 167-190, 日中コミュニケーション研究会, 2004年3月

3 上記以外の所内業務

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 農林水産省命名登録審査会委員

イ. 学会活動

- 日本行動計量学会運営委員/和文誌編集委員
- 日中コミュニケーション(JCC)研究会事務局長

情報資料部門第一領域

伊藤雅光（領域長）

1 担当研究・事業課題名（科研費等も含む）

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築（国語年鑑／新聞記事データベース／図書館目録データベース／図書館システム）
- 大学院教育（日本語文化研究プログラム）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語年鑑 2003 年版』, 2003 年 12 月
- 『日本語ブックレット 2002』, 2004 年 3 月
- 「第 1 部 概観－新聞に見られた日本語をめぐる状況(1)－概観－」, 『日本語ブックレット 2002』, pp.9-15, 2004 年 3 月
- 『国語研の窓』1 件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「第 1 章 コーパス言語学の発展－第 3 節 コーパスと統計－」, 荻野綱男 編『コーパス言語学』, pp.26-35, 明治書院, 2003 年 4 月
- 「日本語史・日本語学史」, アルク 編『日本語教育能力検定試験－第 13 回－第 15 回傾向徹底分析問題集』, pp.136-138, アルク, 2003 年 6 月
- 「第 3 章 ことばを分類する－『分類語彙表』の異版と語彙量－」, 杉戸清樹 編『ことばを分類する』, pp.102-110, 明治書院, 2004 年 3 月

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「歌謡曲の中の外来語・外国語」, 『日本語学』Vol.22 No.8, pp.40-49, 明治書院, 2003 年 7 月
- 「英語圏における漫画・アニメ用語集の構造と基本用語の特徴」, 『日本語学』Vol.22 No.11, pp.66-74, 明治書院, 2003 年 11 月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語科学』13, 企画・編集
- 『日本語科学』14, 企画・編集
- 『国語年鑑 2003 年版』, 企画・編集
- 『分類語彙表－増補改訂版－』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 刊行企画部会員
- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会長
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 図書館運営委員会委員

- 図書館運営委員会 移転・公開部会長
- 図書館運営委員会 図書選定部会長
- 施設整備委員会委員
- 情報公開委員会委員
- 移転整備実施委員会委員
- 移転整備実施委員会 全体計画班員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 計量国語学会理事, 庶務主任
- 語彙辞書研究会, 運営委員
- 国語学会編集委員, 編集委員長補佐

5 その他

- 「なぜ文章が書けないか」, 国立曽爾少年自然の家・職員研修, 国立曽爾少年自然の家, 2003年4月
- 「読まれる文章作成のポイント」, 埼玉県広報広聴研修会, さいたま共済会館, 2003年8月



井上文子 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (図書館目録データベース/図書館システム)
- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成 (研究資料のデジタル化)
- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索方言 (文法全国地図)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 「談話資料」による方言コードの変容に関する研究 (代表者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(B)(1) 方言における文法形式の成立と変化の過程に関する研究 (分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 大都市における消滅に瀕した伝統的方言の記録とデータベース作成 (分担者)
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 薩南諸島におけるネオ方言 (中間方言) の実態調査 (分担者)
- 科学研究費補助金 研究成果公開促進費データベース 全国方言談話データベース (分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第16巻 香川・徳島(国立国語研究所 資料集13-16)』, 2003年6月
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第17巻 愛媛・高知(国立国語研究所 資料集13-17)』, 2003年9月
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第15巻 広島・山口(国立国語研究所 資料集13-15)』, 2003年12月
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第14巻 鳥取・島根・岡山(国立国語研究所 資料集13-14)』, 2004年3月
- 『新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答1件, 2004年3月
- 三井はるみ, 井上文子 編『共通語訳付き方言談話文字化テキストの電子化とその利用』(科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書), 2004年3月

D 論文集等に掲載された論文

- 岸江信介, 井上文子, 大西拓一郎, 都染直也, 鳥谷善史, 中井精一, 佐藤高司 著, 井上史雄, 吉岡泰夫 監修『近畿の方言－調べてみよう 暮らしのことば－』, ゆまに書房, 2003年11月
- 「『全国方言談話データベース』－富山県方言の録音資料－」, 中井精一, 内山純蔵, 高橋浩二 編『日本海総合研究プロジェクト研究報告 2 日本海沿岸の地域特性とことば－富山県方言の過去・現在・未来－』, pp.103-118, 桂書房, 2004年3月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第14巻 鳥取・島根・岡山(国立国語研究所 資料集13-14)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第15巻 広島・山口(国立国語研究所 資料集13-15)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第16巻 香川・徳島(国立国語研究所 資料集13-16)』, 刊行物検討委員会委員
- 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第17巻 愛媛・高知(国立国語研究所 資料集13-17)』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 概要部会員
- 図書館運営委員会委員
- 図書館運営委員会 移転・公開部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員
- 移転整備実施委員会 資料移設計画班員

エ. 見学者への対応等 5件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 査読 国内雑誌 1件

ウ. 教育活動

- 短期大学非常勤講師
- 日本語教師養成講座非常勤講師

5 その他

- 「ことばの世代差－最近耳にする言い方から－」, 平成15年度市民セミナー日本語の魅力再発見!, 千葉県野田市南部梅郷公民館, 2003年12月

新野直哉 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (国語年鑑)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語年鑑 2003 年版』, 2003 年 12 月
- 新野直哉, 斎藤達哉: 「刊行図書の動向」, 『国語年鑑 2003 年版』, pp.9-14, 2003 年 12 月
- 『日本語ブックレット 2002』, 2004 年 3 月
- 「『日本語本』概観」, 『日本語ブックレット 2002』, pp.32-38, 2004 年 3 月
- 『国語研の窓』 1 件

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 「“全然”「いやがうえにも」再考」, 『国語学研究』 No. 43, 東北大学文学部「国語学研究」刊行会, 2004 年 3 月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『国語年鑑 2003 年版』, 企画・編集
- 『国語研の窓』, 企画・編集
- 『日本語ブックレット 2002』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会国語研の窓部会員
- 図書館運営委員会 移転・公開部会員

4 所外活動

イ. 学会活動

- 日本語学会庶務委員

ウ. 教育活動

- 目白大学大学院非常勤講師
- 大阪大学文学部非常勤講師



池田理恵子 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (新聞記事データベース)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 社会動向を反映した日本語研究のための課題設定に関する基礎的研究(分担)

者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 池田理恵子, 辻野都喜江:「新聞記事に見る分野・話題の推移」,『国語年鑑 2003 年版』, pp. 25-32, 2003 年 12 月
- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』 解説 1 件, 2004 年 3 月
- 『日本語ブックレット 2002』, 2004 年 3 月
- 池田理恵子, 辻野都喜江:「新聞に見られた日本語をめぐる状況(2)ー注目の話題ー」,『日本語ブックレット 2002』, pp. 25-31, 2004 年 3 月
- 「国立国語研究所新聞切抜集 (『新聞所載国語関係記事切抜集』目録データベース)」, 2004 年 3 月 (国立国語研究所ホームページで追加公開)

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 池田理恵子, 辻野都喜江:「新聞切り抜きの分野・話題の推移ー「ことばに関する新聞記事データベース」からー」, 『日本語学』 Vol. 22 No. 4, pp. 78-81, 明治書院, 2003 年 4 月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 池田理恵子, 辻野都喜江:「「国語研究所新聞記事見出しデータベース」について」, 『国語学会 2003 年度春季大会 予稿集』, pp. 211-218, 国語学会, 2003 年 5 月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『国語研の窓』, 企画・編集
- 『日本語ブックレット 2002』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 企画調整部会員
- 普及広報委員会 国語研の窓部会長

4 所外活動

イ. 学会活動

- 社会言語科学会事業委員会委員 (～2003 年 7 月)



齋藤達哉 (研究員)

1 担当研究・事業課題名 (科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (国語年鑑/日本語教育年鑑)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語年鑑 2003 年版』, 2003 年 12 月
- 新野直哉, 斎藤達哉: 「刊行図書の動向」, 『国語年鑑 2003 年版』, pp. 9-14, 2003 年 12 月
- 「雑誌文献の動向」, 『国語年鑑 2003 年版』, pp. 15-20, 2003 年 12 月
- 斎藤達哉, 竹部歩美: 「総合雑誌記事の傾向」, 『国語年鑑 2003 年版』, pp. 21-24, 2003 年 12 月
- 『日本語ブックレット 2002』, 2004 年 3 月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『国語年鑑 2003 年版』, 企画・編集
- 『日本語ブックレット 2002』, 企画・編集
- 『日本語科学』 13, 企画・編集
- 『日本語科学』 14, 企画・編集
- 『国立国語研究所 研究活動一覧(14 年度)』, 企画・編集
- 『日本語教育年鑑 2003 年版』, 協力
- 『日本語教育ブックレット 5 論理的文章作成能力の育成に向けて』, 刊行物検討委員会委員
- 『日本語教育ブックレット 6 地域の日本語教育と視聴覚教材』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 評価部会研究活動一覧作業班員
- 研究計画委員会 「日本語科学」編集部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員

エ. 見学者への対応等 13 件

4 所外活動

イ. 学会活動

- 国語学会庶務委員 (2003 年 5 月まで)
- 査読 国内雑誌 1 件

ウ. 教育活動

- 跡見学園女子大学 文学部 非常勤講師



辻野都喜江 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (新聞記事データベース)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 社会動向を反映した日本語研究のための課題設定に関する基礎的研究 (分担者)

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 池田理恵子, 辻野都喜江:「新聞記事に見る分野・話題の推移」,『国語年鑑 2003 年版』, pp. 25-32, 2003 年 12 月
- 『日本語ブックレット 2002』, 2004 年 3 月
- 池田理恵子, 辻野都喜江:「新聞に見られる日本語をめぐる状況(2)－注目の話題－」,『日本語ブックレット 2002』, pp. 25-31, 2004 年 3 月
- 池田理恵子, 辻野都喜江:「国立国語研究所新聞切抜集」(『新聞所載国語関係記事切抜集』目録データベース), 2004 年 3 月 (国立国語研究所ホームページで追加公開)

C 学術雑誌, 商業雑誌等に掲載された論文

- 池田理恵子, 辻野都喜江:「新聞切り抜きの分野・話題の推移－『ことばに関する新聞記事データベース』から－」, 『日本語学』 Vol. 22 No. 4, pp. 78-81, 明治書院, 2003 年 4 月

E 口頭・ポスター発表 (予稿集あり)

- 池田理恵子, 辻野都喜江:「『国語研究所新聞記事見出しデータベース』について」, 『国語学会 2003 年度春季大会 予稿集』, pp. 211-218, 国語学会, 2003 年 5 月

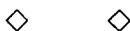
3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『日本語ブックレット 2002』, 企画・編集
- 『国立国語研究所 研究活動一覧(14 年度)』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 評価部会 研究活動一覧作業班員



中山典子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名 (科研費等も含む)

- 日本語の研究・状況に関する目録情報データベースの構築 (図書館目録データベース/図書館システム)

3 上記以外の所内業務

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 概要部会員
- 図書館運営委員会 図書選定部会員

情報資料部門第二領域

横山詔一（領域長）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（日本語教育支援総合ネットワーク／インターネットによる海外提供システム）
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム
- 言葉に関する電話質問等への対応
- 大学院教育（日本語文化研究プログラム）

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『国語研の窓』 1件

B 所員が執筆・編集した単行本

- 笹原宏之，横山詔一，エリック＝ロング：『現代日本の異体字－漢字環境学序説－（国立国語研究所プロジェクト選書2）』，三省堂，2003年11月
- Eric Long, Yokoyama Shoichi, Kumagai Yasuo, Yoneda Junko & Joseph F. Kess, "JiBOOKS: An Image-based Japanese-language Data Retrieval System," Joseph F. Kess, Hiroko Noro, Midge M. Ayukawa & Helen Lansdowne eds., *Changing Japanese Identities in Multicultural Canada*, pp.465-471, . Center for Asia-Pacific Initiatives, University of Victoria, Canada, 2003.11

C 学術雑誌，商業雑誌等に掲載された論文

- 笹原宏之，横山詔一，エリック＝ロング：「文字コードの現状と将来」，『日本語学』Vol.22 臨時増刊，pp.99-110，明治書院，2003年4月
- 横山詔一，笹原宏之：「日本語文字資源の基盤整備－システム開発を支える異体字の認知科学－」，『日語日文学研究』Vol.46，pp.17-31，韓国日語日文学會，2003年8月

F 口頭・ポスター発表（予稿集なし）

- 「図書情報検索における外字対応－漢字環境学の視点から－」，第18回ことばフォーラム「外字対応のヒント－図書館や電子政府の取り組み－」，2003年11月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第15回ことばフォーラム「日本語を外から眺める」，企画・運営
- 第16回ことばフォーラム「効果的なコミュニケーション－間やリズムを上手に使おう－」，企画・運営
- 第17回ことばフォーラム「方言の科学－ことばのくにざかい富山－」，企画・運営
- 第18回ことばフォーラム「外字対応のヒント－図書館や電子政府の取り組み－」，企画・運営
- 第19回ことばフォーラム「ことばを探そう－言葉の世界に遊ぶ－」，企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『平成15年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 世界の言語テスト I』，刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会、研究支援等

- 研究計画委員会委員
- 研究計画委員会 評価部会員
- 国際交流委員会委員
- 普及広報委員会委員
- 普及広報委員会 企画調整部会員
- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会長
- 普及広報委員会 英文概要部会員
- ネットワーク運営委員会委員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク基盤整備部会長
- 大学院運営委員会委員
- 大学院運営委員会 企画調整部会員
- 大学院運営委員会 政研大博士課程部会員
- 施設整備委員会委員
- 「外来語」所内委員会 相談窓口部会員
- 移転整備実施委員会委員
- 移転整備実施委員会 全体計画班員
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム所内委員会委員

4 所外活動

ア. 所外委員会

- 汎用電子情報交換環境整備プログラム文字対応作業委員会委員
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム実務者会議メンバー
- 文部科学省小学校国語特定問題作成作業委員会委員

イ. 学会活動

- 計量国語学会理事
- 日本心理学会認定心理士認定委員会委員
- 日本心理学会認定心理士認定委員会認定基準検討作業部会委員
- 査読 国内雑誌 8 件

ウ. 教育活動

- 青山学院大学文学部非常勤講師



山田貞雄 (主任研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 言葉に関する電話質問等への対応

2 成果公表活動

A 国立国語研究所を刊行元とするもの

- 『新「ことば」シリーズ 17 言葉の「正しさ」とは何か』 問答 1 件, 2004 年 3 月

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第15回ことばフォーラム「日本語を外から眺める」, 企画・運営
- 第16回ことばフォーラム「効果的なコミュニケーション-間やリズムを上手に使おう-」, 企画・運営
- 第17回ことばフォーラム「方言の科学-ことばのくにざかい富山-」, 企画・運営
- 第18回ことばフォーラム「外字対応のヒント-図書館や電子政府の取り組み-」, 企画・運営
- 第19回ことばフォーラム「ことばを探す-語彙の世界に遊ぶ-」, 企画・運営

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 普及啓発図書企画部会員
- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員
- 「外来語」所内委員会 相談窓口部会員

エ. 見学者への対応等 2件

4 所外活動

ア. 所外委員会

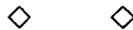
- 日本広報協会広報誌コンクール審査委員 (広報アドバイザー)

イ. 学会活動

- 査読 国内雑誌 1件

5 その他

- 花まるマーケット “三杯酔の語源”, 2004年1月
- 福島県福島市私立幼稚園連合保育士研修講師, 2003年8月



森本祥子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名 (科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成 (電子化報告書・資料集等/研究資料のデジタル化/日本語教育支援総合ネットワーク/バーチャル日本語情報資料館システム)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案
- 科学研究費補助金 基盤研究(A)(1) 歴史情報資源活用システムと国際的アーカイブズネットワークの基盤構築に向けての研究 (分担者)

2 成果公表活動

B 所員が執筆・編集した単行本

- 「アーキビストの養成」, 文書館問題研究会, 横浜開港資料館 編『歴史資料の保存と公開 (岩田書院ブックレット7)』, pp.45-59, 岩田書院, 2003年8月
- 「アーカイブズの編成と記述標準化-国際的動向を中心に-」, 国文学研究資料館史料館 編『アーカイブズの科学』下巻, pp.236-260, 柏書房, 2003年10月

- 「アーキビストの倫理」, 小川千代子, 高橋実, 大西愛 編『アーカイブ事典』, pp. 175-178, 大阪大学出版会, 2003年10月

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『「ことばビデオ」シリーズ<豊かな言語生活をめざして>3 方言の旅』, 企画・編集
- 『国立国語研究所 研究活動一覧(14年度)』, 企画・編集
- 『平成15年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 韓国アンケート調査集計結果報告』, 刊行物検討委員会委員

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 研究計画委員会 評価部会研究活動一覧作業班員
- 普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会員
- ネットワーク運営委員会 ネットワーク運用管理部会員
- 移転整備実施委員会 資料移設計画班員



鈴木美都代 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 言葉に関する電話質問等への対応

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第15回ことばフォーラム「日本語を外から眺める」, 企画・運営
- 第16回ことばフォーラム「効果的なコミュニケーションー間やリズムを上手に使おうー」, 企画・運営

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 概要部会員



塚田実知代 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 言葉に関する電話質問等への対応
- 日本語の多様性に関する基盤データの整備と研究法の探索 (学校敬語・敬意表現調査報告)
- 分かりにくい外来語の言い換え提案

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第15回ことばフォーラム「日本語を外から眺める」, 協力
- 第16回ことばフォーラム「効果的なコミュニケーションー間やリズムを上手に使おうー」, 企画・運営
- 第17回ことばフォーラム「方言の科学ーことばのくにざかい富山ー」, 企画・運営
- 第19回ことばフォーラム「ことばを探すー語彙の世界に遊ぶー」, 企画・運営

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会員



小高京子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成 (電子化報告書・資料集等/研究資料のデジタル化/日本語教育支援総合ネットワーク/バーチャル日本語情報資料館システム)

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 平成15年度 国立国語研究所公開研究発表会, 企画・運営

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 公開研究発表会部会員



磯部よし子 (研究員)

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成 (電子化報告書・資料集等/研究資料のデジタル化/日本語教育支援総合ネットワーク/バーチャル日本語情報資料館システム)
- 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 『日本言語地図』データベース (分担者)

3 上記以外の所内業務

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『新「ことば」シリーズ17 言葉の「正しさ」とは何か』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会員

米田純子（研究員）

1 担当研究・事業課題名(科研費等も含む)

- 日本語情報資源の形成と共有のための基盤形成（日本語教育支援総合ネットワーク／インターネットによる海外提供システム）
- ITを活用した日本語学習環境の整備
- 電子政府汎用電子情報交換環境整備プログラム

2 成果公表活動

B 所員が執筆・編集した単行本

- Eric Long, Yokoyama Shoichi, Kumagai Yasuo, Yoneda Junko & Joseph F. Kess, “JiBOOKS: An Image-based Japanese-language Data Retrieval System, ” Joseph F. Kess, Hiroko Noro, Midge M. Ayukawa & Helen Lansdowne eds., *Changing Japanese Identities in Multicultural Canada*, pp.465-471, Center for Asia-Pacific Initiatives, University of Victoria, Canada, 2003.11

3 上記以外の所内業務

ア. 研究所主催行事の企画・運営・協力等

- 第18回ことばフォーラム「外字対応のヒントー図書館や電子政府の取り組みー」, 企画・運営

イ. 研究所刊行物の企画・編集・協力等

- 『国語研の窓』, 企画・編集

ウ. 各種委員会・部会, 研究支援等

- 普及広報委員会 国語研の窓部会員
- 汎用電子情報交換環境整備プログラム所内委員会委員
- ネットワーク管理業務

平成 1 5 年度

研究会議・研究発表一覧

所内委員会委員・部会員一覧

刊行物検討委員会一覧

所内見学者一覧

招へい研究員一覧

非常勤研究員等一覧

滞在研究員受入一覧

外国出張一覧

平成 15 年度研究会議・研究発表一覧

氏名	発表題目
島村直己	漢字の特性値による常用漢字の分類 －小学校配当漢字の見直しのために
森本祥子	アーキビストの視点からみた研究資料
熊谷智子	平成 14 年度「ことばビデオ」について
三井はるみ	平成 14 年度 新「ことば」シリーズ 16 について
前川喜久雄	『日本語話し言葉コーパス』の構築状況と予備的分析
小磯花絵・米山聖子	談話構造と韻律との関係 －『日本語話し言葉コーパス』を用いて－
山崎誠・小沼悦	『分類語彙表－増補改訂版－』について
山田貞雄	質問回答についての報告
宇佐美洋	平成 15 年度 新「ことば」シリーズ 今年度の編集方針について
楢本総子	課題解決の会話における上下・対等関係の相互的实践
横山詔一	「ことば」フォーラムの今年度の活動と来年度の方針について
仕様策定委員会	次期計算機システム導入説明書（案）について
相澤正夫	「日本語の現在」意識調査について 「日本語の現在」の概要
米田正人	「全国調査」について
吉岡泰夫	「発信者調査」について
大西拓一郎	平成 15 年度作成ビデオについて 国立国語研究所「ことばビデオ」シリーズ <豊かな言語生活をめざして>3 「方言の旅」

平成15年度所内委員会委員一覧 (◎印：委員長 ○印：部会長 ※印：管理部職員)

研究計画委員会

◎甲斐睦朗 木村直 (7月31日まで) 菫澤弘志 (8月1日から) 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄
吉岡泰夫 米田正人 山崎誠 前川喜久雄 石井恵理子 柳澤好昭
伊藤雅光 横山詔一

研究計画委員会 研究企画調整部会

○杉戸清樹 相澤正夫 熊谷康雄 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から)

研究計画委員会 評価部会

○相澤正夫 前川喜久雄 石井恵理子 横山詔一 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から)

研究計画委員会 評価部会研究活動一覧作成作業班

相澤正夫 齋藤達哉 辻野都喜江 森本祥子 田島正幸*

研究計画委員会 刊行企画部会

○杉戸清樹 山崎誠 石井恵理子 伊藤雅光 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から)

研究計画委員会 「日本語科学」編集部会

○伊藤雅光 ○井上優 尾崎喜光 (10月27日まで) 三井はるみ (10月28日から)
山崎誠 小椋秀樹 小磯花絵 福永由佳 杉本明子 齋藤達哉
青山文啓 (所外) 安部清哉 (所外)

国際交流委員会

◎甲斐睦朗 木村直 (7月31日まで) 菫澤弘志 (8月1日から) 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄
吉岡泰夫 米田正人 山崎誠 前川喜久雄 石井恵理子 柳澤好昭
伊藤雅光 横山詔一

国際交流委員会 研究交流企画部会

○杉戸清樹 相澤正夫 熊谷康雄 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から)

普及広報委員会

◎甲斐睦朗 木村直 (7月31日まで) 菫澤弘志 (8月1日から) 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄
吉岡泰夫 米田正人 山崎誠 前川喜久雄 石井恵理子 柳澤好昭
伊藤雅光 横山詔一 大西拓一郎 井上優 宇佐美洋 池田理恵子
田島正幸*

普及広報委員会 企画調整部会

○相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 横山詔一 大西拓一郎 井上優
宇佐美洋 池田理恵子 田島正幸*

普及広報委員会 国語研の窓部会

○池田理恵子 新野直哉 米田純子 田島正幸*

普及広報委員会 普及啓発図書企画部会

○杉戸清樹 田中牧郎 笹原宏之 金田智子 山田貞雄 佐々木和彦*

普及広報委員会 概要部会

○田島正幸* 井上文子 中山典子 鈴木美都代 (10月28日まで)

普及広報委員会 英文概要部会

○前川喜久雄 横山詔一 熊谷智子 井上優 田島正幸*

普及広報委員会 新「ことば」シリーズ部会

○宇佐美洋 熊谷智子 三井はるみ 磯部よし子 田島正幸*

普及広報委員会 「ことば」ビデオ作成部会

○大西拓一郎 金田智子 當眞千賀子 福永由佳 森本祥子 佐々木和彦*

普及広報委員会 公開研究発表会部会

○井上優 小磯花絵 菅井英明 小高京子 田島正幸*

普及広報委員会 「ことば」フォーラム部会

○横山詔一 尾崎喜光 山田貞雄 小河原義朗 塚田実知代 田島正幸*

図書館運営委員会

◎木村直 (7月31日まで) ◎菑澤弘志 (8月1日から) 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄
前川喜久雄 柳澤好昭 伊藤雅光 井上文子

図書館運営委員会 企画部会

○近藤二郎* (11月16日まで) ○七五三掛哲郎* (11月17日から) 相澤正夫
杉戸清樹 熊谷康雄

図書館運営委員会 移転・公開部会

○伊藤雅光 井上文子 新野直哉 當眞千賀子 宇佐美洋 早田美智子
佐々木和彦*

図書館運営委員会 図書選定部会

○伊藤雅光 山崎誠 前川喜久雄 井上文子 杉本明子 小河原義朗
早田美智子 齋藤達哉 中山典子 佐々木和彦*

ネットワーク運営委員会

◎熊谷康雄 相澤正夫 杉戸清樹 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 山崎誠 前川喜久雄 柳澤好昭
横山詔一 山口昌也 植木正裕

ネットワーク運営委員会 ネットワーク基盤整備部会

○横山詔一 小磯花絵 植木正裕 佐々木和彦*

ネットワーク運営委員会 ネットワーク運用管理部会

○山崎誠 山口昌也 宇佐美洋 森本祥子 田島正幸*

大学院運営委員会

◎甲斐睦朗 木村直 (7月31日まで) 菰澤弘志 (8月1日から) 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄
前川喜久雄 石井恵理子 横山詔一

大学院運営委員会 企画調整部会

○杉戸清樹 近藤二郎* (11月16日まで) 七五三掛哲郎* (11月17日から)
石井恵理子 横山詔一

大学院運営委員会 政研大修士課程部会

○石井恵理子 柳澤好昭 熊谷智子

大学院運営委員会 政研大博士課程部会

○杉戸清樹 横山詔一 金田智子

施設整備委員会

◎木村直 (7月31日まで) ◎菰澤弘志 (8月1日から) 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 相澤正夫 杉戸清樹
熊谷康雄 山崎誠 前川喜久雄 石井恵理子 柳澤好昭 伊藤雅光
横山詔一

情報公開委員会

◎熊谷康雄 相澤正夫 杉戸清樹 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 山崎誠 石井恵理子 伊藤雅光

セクシャルハラスメント防止委員会

◎熊谷康雄 近藤二郎* (11月16日まで) 七五三掛哲郎* (11月17日から)
石井恵理子 三井はるみ 金田智子 田島正幸* 権藤智香子*

レクリエーション委員会

◎吉岡泰夫 小沼悦 早田美智子 藤崎敏雄*

「外来語」所内委員会

◎甲斐睦朗 木村直 (7月31日まで) 菰澤弘志 (8月1日から) 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄
山崎誠 田中牧郎

「外来語」所内委員会 相談窓口部会

○熊谷康雄 横山詔一 山田貞雄 田島正幸*

移転整備実施委員会

◎甲斐睦朗 木村直 (7月31日まで) 菫澤弘志 (8月1日から) 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄
山崎誠 前川喜久雄 石井恵理子 柳澤好昭 伊藤雅光 横山詔一

移転整備実施委員会 企画部会

○木村直 (7月31日まで) ○菫澤弘志 (8月1日から) 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄
田島正幸* 佐々木和彦*

移転整備実施委員会 全体計画班

佐々木和彦* 山崎誠 前川喜久雄 石井恵理子 柳澤好昭 伊藤雅光
横山詔一 田島正幸*

移転整備実施委員会 資料移設計画班

森本祥子 井上文子 藤崎敏雄*

汎用電子情報交換環境整備プログラム所内委員会

◎甲斐睦朗 木村直 (7月31日まで) 菫澤弘志 (8月1日から) 近藤二郎* (11月16日まで)
七五三掛哲郎* (11月17日から) 相澤正夫 杉戸清樹 熊谷康雄
柳澤好昭 横山詔一 笹原宏之 米田純子 田島正幸* 佐々木和彦*

平成15年度刊行物検討委員会一覧（○印：委員長）

『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成』第14巻～17巻
（国立国語研究所 資料集13-14～13-17）

○熊谷康雄 熊谷智子 三井はるみ 井上文子

『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究韓国アンケート調査集計結果報告書』

○杉戸清樹 山口昌也 森本祥子 小河原義朗

日本語教育ブックレット

5 『論理的文章作成能力の育成に向けて』

6 『地域における日本語学習支援』

○杉戸清樹 山崎誠 井上優 宇佐美洋 齋藤達哉

『H15年度 日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 世界の言語テストⅠ』

○杉戸清樹 横山詔一 尾崎喜光 杉本明子 菅井英明

平成15年度所内見学者一覧

※ 以下にあげたものは、公的な依頼を受けたものである。
そのほかにも、国の内外から随時来訪者があり、関係する研究職員が対応した。

見学日	見学者
平成15年	
4月23日	岩手県盛岡市立厨川中学校生徒（1名）
5月21日	秋田県大館市立矢立中学校生徒（4名）
5月27日	韓国国際交流財団研究奨学支援チーム担当（1名）
6月 3日	愛知県犬山市立犬山中学校生徒（4名）
7月 8日	埼玉県さいたま市立本太中学校生徒（4名）
8月 1日	文化庁インターンシップ学生（1名）
9月19日	韓国国立国語研究院（3名）
9月25日	中国広東省大学日本語教師代表団（6名）
10月10日	東京都文京区立第九中学校生徒（8名）
10月24日	中国日本語教師訪日団（11名）
12月10日	中国教育部言語応用管理調査団（7名）
12月15日	明海大学日本語学科学生（5名）
平成16年	
1月26日	東京都板橋区立志村第一中学校生徒（5名）

平成15年度招へい研究員一覧

氏名 / 国籍	所属 / 期間
冷 麗敏 (中華人民共和国)	北京師範大学外文学院日本語学部助教授 平成15年10月1日～平成18年9月30日
馮 志偉 (中華人民共和国)	韓国科学技術院客員教授 平成16年3月26日～平成16年3月31日
グエン・ティ・ビック・ハー (ベトナム社会主義共和国)	ハノイ貿易大学日本学科長 平成16年3月26日～平成16年4月1日
マサンバ・デービット P. B. (タンザニア連合共和国)	ダル・エス・サラーム大学スワヒリ語研究所教授 平成16年3月26日～平成16年4月9日
趙 南浩 (大韓民国)	韓国国立国語研究院学芸研究員 平成16年3月26日～平成16年4月9日

平成15年度非常勤研究員等一覧

研究開発部門

非常勤研究員	阿部二郎	非常勤研究員	宇佐美まゆみ
〃	田中ゆかり	〃	宮田公治
〃	茂木俊伸	研究補佐員	井出順子
研究補佐員	虎岩千賀子	〃	寺田紗知子
〃	吉川明日香		
第一領域			
非常勤研究員	飯間浩明	非常勤研究員	小木曾智信
〃	近藤明日子		
研究補佐員	稲益佐知子	研究補佐員	桐生りか
〃	吉田谷幸宏		
第二領域			
非常勤研究員	亀田裕見	非常勤研究員	小西いずみ
〃	篠崎晃一	〃	米山聖子
研究補佐員	吉田雅子		
第二領域・融合			
非常勤研究員	石井正彦	非常勤研究員	石塚京子
〃	籠宮隆之	〃	河原達也
〃	菊池英明	〃	木村朗子
〃	木村睦子	〃	高畑美紀
〃	田中英輝	〃	達瓦・伊徳木草
〃	塚原渉	〃	傳 康晴
〃	西川賢哉	〃	藤本雅子
〃	槇 洋一	〃	間淵洋子
〃	丸山岳彦	〃	南 泰浩
〃	宮島達夫	〃	山住賢司
研究補佐員	阿左美厚子	研究補佐員	河西秀早子
〃	栗原美和子	〃	杉山仁美
〃	相馬さつき	〃	田村恵実
〃	永山美穂		

日本語教育部門

第一領域			
非常勤研究員	池田玲子	非常勤研究員	岡部真理子
〃	黒野敦子	〃	下平菜穂
〃	富谷玲子	〃	藤田真一
〃	峯 布由紀		
研究補佐員	成田高宏	事務補佐員	笠井淳子
事務補佐員	舘野有希枝	〃	福富七重
第二領域			
非常勤研究員	金子史朗	非常勤研究員	加藤久枝
〃	玉置亜衣子	〃	水野千佳子
〃	任都栗新	研究補佐員	井上義勝

事務補佐員	池田優子	事務補佐員	稲垣陽子
〃	小根山美鈴	〃	篠崎佳子
〃	高橋悦子	〃	李銀淑

情報資料部門

非常勤研究員	半沢 康		
第一領域			
事務補佐員	加藤論子		
第二領域			
非常勤研究員	エリク・ロング	研究補佐員	竹部歩美
事務補佐員	宮崎ユカ		

平成15年度滞在研究員受入一覧

(新規受入者及び平成15年度在籍滞在研究員等を含む)

氏名 / 国籍	所属 / 期間	指導担当
皆川 泰代 (日本)	日本学術振興会特別研究員 平成13年4月1日～平成16年3月31日	前川喜久雄
荒木 俊子 (特別研究生) (日本)	北陸先端科学技術大学大学院知識科学研究科 平成14年10月1日～平成15年9月30日	熊谷智子
韓 有錫 (大韓民国)	東新大学校語文学部副教授 平成14年11月28日～平成16年2月29日	山崎 誠
バックハウス・ペーター (ドイツ連邦共和国)	デュースブルク大学東アジア研究所研究員 平成15年2月4日～平成15年6月12日	米田正人
賈 黎黎 (特別研究学生) (中華人民共和国)	北京日本学研究中心大学院博士課程在籍 平成15年4月1日～平成16年3月31日	井上 優
鈴木 慶子 (日本)	長崎大学教育学部助教授 平成15年5月12日～平成16年2月27日	田中牧郎
ザトラウスキー・ポリリー (アメリカ合衆国)	ミネソタ大学言語学科準教授 平成15年5月21日～平成16年9月3日	熊谷智子
比留間直和 (研修生) (日本)	朝日新聞東京本社校閲部 平成15年10月1日～平成16年3月31日	笹原宏之

平成15年度外国出張一覧

※ 以下にあげたものは、公費による出張のみである。

氏名	用務 / 用務先 / 期間
甲斐睦朗	学術交流協定の締結, 情報交換, 施設見学 大韓民国 平成15年10月29日～平成15年10月31日
蕪澤弘志	学術交流協定の締結, 情報交換, 施設見学 大韓民国 平成15年10月29日～平成15年10月31日
山崎誠	分類語彙表の作業に関する打ち合わせ 大韓民国 平成15年10月10日～平成15年10月12日
前川喜久雄	国際音声科学会議衛星会議への参加 スペイン, 英国 平成15年8月1日～平成15年8月15日
大西拓一郎	第16回国際歴史言語学会への参加 デンマーク王国 平成15年8月10日～平成15年8月17日
西川賢哉	日本語話し言葉コーパスに関する意見の交換 アメリカ合衆国 平成16年1月7日～平成16年1月18日
藤本雅子	国際音声科学会議衛星会議への参加 スペイン王国 平成15年7月31日～平成15年8月11日
杉戸清樹	学術交流協定の締結, 情報交換, 施設見学 大韓民国 平成15年10月29日～平成15年10月31日
石井恵理子	日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 大韓民国 平成15年5月13日～平成15年5月19日

韓国の民間における日本語学習者及び及び教師に日本語学習法調査
大韓民国
平成15年9月20日～平成15年9月26日

北米における長期滞在児童生徒の日本語及び現地語能力の問題に関する
情報収集、日本語バイリンガル授業校の調査
アメリカ合衆国
平成15年10月23日～平成15年10月29日

金田智子

日本語教師に対するインタビュー調査及び学習者に対するインタビュー
協力者との打ち合わせ
オーストラリア連邦
平成15年5月27日～平成15年6月6日

学習手段台湾調査に関する準備会議及び協力関係の構築
台湾 他
平成16年3月10日～平成16年3月14日

宇佐美 洋

日本語学習者による日本語・タイ語発話データの収録と研究打ち合わせ
タイ王国
平成15年5月11日～平成15年5月21日

「日本語学習者による日本語発話と母語発話との対照データベース」に関
する概要説明及び韓国の日本語教育関係者に対するデータ収集協力の依頼
大韓民国
平成15年6月6日～平成15年6月8日

ヨーロッパ日本語教育シンポジウムへの参加
スイス連邦
平成15年9月10日～平成15年9月16日

韓国語を母語とする日本語学習者の日本語・母語発話の収集
大韓民国
平成16年2月8日～平成16年2月14日

タイ語を母語とする学習者の日本語・母語発話の収集
タイ王国
平成16年2月29日～平成16年3月6日

小河原義朗

韓国の民間における日本語学習者及び教師の日本語学習法の調査
大韓民国
平成15年9月21日～平成15年9月27日

調査研究結果報告と本調査の準備
タイ王国 他
平成16年3月18日～平成16年3月24日

柳澤好昭

日本文化コンテンツの共同作成の準備
大韓民国
平成15年6月3日～平成15年6月7日

巡回指導セミナー
大韓民国
平成15年8月11日～平成15年8月13日

コンテンツ作成のための連絡・協議
大韓民国
平成15年10月8日～平成15年10月10日

IT合同研修準備会議及びコンテンツ作成のための連絡・協議
大韓民国
平成15年10月14日～平成15年10月16日

日本語教師教育に関する情報収集
大韓民国
平成16年3月12日～平成16年3月15日

植木正裕

ベルギー日本語教師会日本語教育セミナーへの出席 他
ベルギー王国, スイス連邦
平成15年9月7日～平成15年9月16日

e-japan巡回指導
ドイツ連邦共和国
平成15年9月19日～平成15年9月26日

米田正人

韓国日本語学会に出席
大韓民国
平成16年3月25日～平成16年3月28日

平成15年度
国立国語研究所刊行物一覽

平成 15 年度国立国語研究所の刊行物

書 名	市販品刊行元	刊行年月
年鑑		
『日本語教育年鑑』2003年版	くろしお出版	平成15年8月
『国語年鑑』2003年版	大日本図書	平成15年12月
日本語科学		
『日本語科学』13	国書刊行会	平成15年4月
『日本語科学』14	国書刊行会	平成15年10月
新「ことば」シリーズ		
17『言葉の「正しさ」とは何か』	国立印刷局	平成16年3月
「ことばビデオ」シリーズ		
『豊かな言語生活をめざして3 方言の旅』	東京シネ・ビデオ	平成16年3月
国立国語研究所資料集		
13-16『全国方言談話データベース第16巻 日本のふるさとことば集成 香川・徳島』	国書刊行会	平成15年6月
13-17『全国方言談話データベース第17巻 日本のふるさとことば集成 愛媛・高知』	国書刊行会	平成15年9月
13-15『全国方言談話データベース第15巻 日本のふるさとことば集成 広島・山口』	国書刊行会	平成15年12月
13-14『全国方言談話データベース第14巻 日本のふるさとことば集成 鳥取・島根・岡山』	国書刊行会	平成16年3月
14『分類語彙表 一増補改訂版一』	大日本図書	平成16年1月
国際シンポジウム報告書		
第10回国立国語研究所国際シンポジウム第1部会報告書 『Spontaneous Speech : Data and Analysis』		平成16年3月

第10回国立国語研究所国際シンポジウム第2部会報告書
『日本語コミュニケーションの言語問題』 平成15年7月

日本語教育論集

『日本語教育論集』20 平成16年3月

国立国語研究所日本語教育短期研修報告書

『日本語教育ブックレット5
論理的文章作成能力の育成に向けて』 平成16年3月

『日本語教育ブックレット6
地域における日本語学習支援』 平成16年3月

その他内部資料等

『第1回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を
わかりやすくするための言葉遣いの工夫—』 平成15年4月

『平成13年度日本語教育の学習環境と学習手段に関する
調査研究～タイ(バンコック)アンケート調査
集計結果報告書<タイ語版>』 平成15年9月

『第2回「外来語」言い換え提案—分かりにくい外来語を
わかりやすくするための言葉遣いの工夫—』 平成15年11月

『平成15年度 国立国語研究所公開研究発表会予稿集』 平成15年12月

『平成15年度日本語教育の学習環境と学習手段に関する
調査研究～韓国アンケート調査集計結果報告書』 平成16年3月

『海外言語政策関係参考資料 1
「韓国『国語基本法制定(案)説明資料』』 平成16年3月

『海外言語政策関係参考資料 2
「韓国『国語発展総合計画(案)説明資料』』 平成16年3月

『行政情報を分かりやすく伝える言葉遣いの
工夫に関する意識調査(自治体調査)』 平成16年3月

『外来語に関する意識調査(全国調査)』 平成16年3月

『日本語教育の学習環境と学習手段に関する
調査研究報告書・世界の言語テスト I』 平成16年3月

『日本語ブックレット2002』 平成16年3月

『国立国語研究所研究活動一覽』
作成作業班

相澤 正夫

相本 総子

森本 祥子

磯部よし子

田島 正幸

国立国語研究所研究活動一覽（平成15年度）

Annual Report of Research Activities
The National Institute for Japanese Language
April 2003 - March 2004



平成16年6月15日 発行

編集：独立行政法人 国立国語研究所
研究計画委員会研究企画調整部会
『国立国語研究所研究活動一覽』
作成作業班

発行：独立行政法人 国立国語研究所
〒115-8620 東京都北区西が丘3-9-14
電話：03 (3900) 3111 (代表)
FAX：03 (3906) 3530
URL：http://www.kokken.go.jp

(平16-2)